

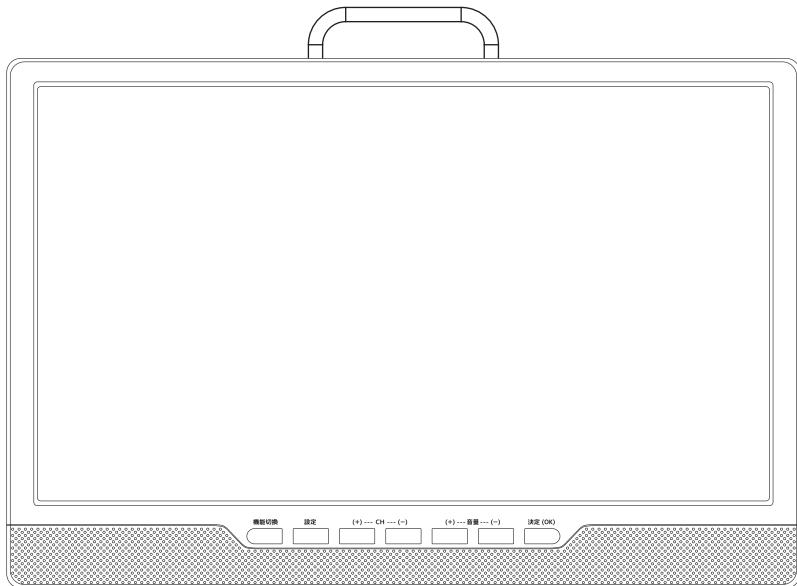
型番：OT-3PT14AK

(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

【地上・BS・CSチューナー搭載】
【14型液晶】【録画機能付き】 **コンパクトTV**

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為の注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体）	8
各部名称（リモコン）	9
リモコンについて	10

ご視聴前の準備

機器の設置	11
B-CASカードの準備	12
アンテナの準備	13-14
電源の準備	15
初期設定（かんたん設置設定）	16-18
アンテナ受信レベル	19
テレビの視聴と設定	20-23

「録画」に関する機能や操作

録画機能に関する注意	24
ディスク(メモリー)の準備	25-26
録画設定	27
「録画」に関する機能の利用	28-30
メディアプレーヤー機能	31-32
外部機器の接続/入力ソース切換	32
HDMI設定（連動操作など）	33

設定メニュー

映像設定	34-36
タイマー設定	36
機器設定	37-42
機器情報	42
トラブルシューティング	43-45
製品仕様	46
その他(各種注釈や免責など)	47-48
アフターサービス/保証規定	48-49

はじめに

安全上の注意

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

(*1) 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

(*2) 傷害とは治療に入院や長期通院を要しないケガ、やけど、感電などをさします。

(*3) 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“○”は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“！”は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“！”は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき	 警告
発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	 電源プラグを抜く
内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	! 警告
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	  指示
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）	 指示
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。	 上載せ 禁止
ご使用されるとき	! 警告
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。	 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。	 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
お手入れについて	! 警告
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。	 指示

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り 禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」...など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

はじめに

◎取り扱いに関するここと

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障ができる場合があります。

◎置き場所に関するここと

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関するここと

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。
汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかり拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

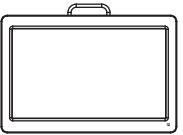
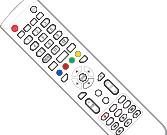
◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露”はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

はじめに

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

			
●本体	●リモコン (試用電池付)	●AC アダプター	●シガーソケット アダプター (12V 車専用)
			
●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)	●地デジ受信用 簡易アンテナ (屋外用)	●取扱説明書 (本書)	●製品保証書
			
●車載用バッグ	●B-CAS カード		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプター(付属品)について…

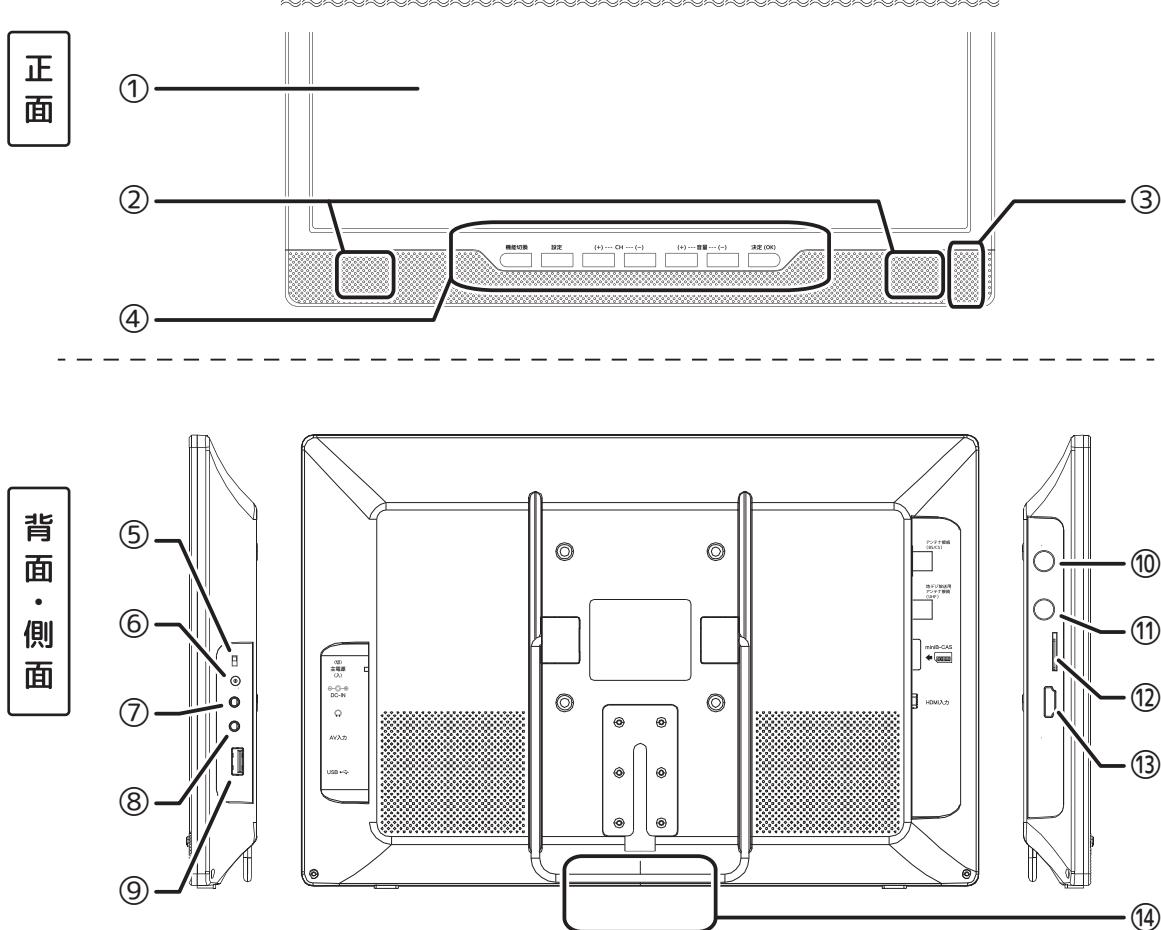
- お車でご利用される際は、安全な場所に停車してからご利用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 付属のアダプターはDC12Vバッテリー使用の自動車専用です。
- 付属のアダプターはマイナスアース車専用です。
- 付属のアダプターの形状は一般的な車のソケット形状に合わせて作られています。車側のソケット形状によっては取付けられない場合があります。

※地デジ放送受信用簡易アンテナ(付属品)について…

- 本製品付属の地上デジタル放送受信用の簡易的なアンテナです。こちらのアンテナを利用して「衛星放送（BS/CS）番組」のご視聴はできません。また、このアンテナは簡易的なサービス品です。ブースター（電波増幅装置）等は搭載されていない為、アンテナを設置する環境（山間部など）や場所（室内や地下など）によってはご視聴いただけない場合があります。特に、初期設定（チャンネル登録）を行う際はスキャンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信レベルの高いアンテナと接続して設定を行ってください。

※上図イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称（本体）



- | | | |
|---|---------------|-------------------|
| ① 液晶パネル | ② スピーカー | ③ 状態表示ランプ／リモコン受光部 |
| ④ 操作ボタン（※左から[機能切換][設定][CH切換(+/-)][音量切換(+/-)][決定]） | | |
| ⑤ 主電源スイッチ | ⑥ DC電源入力端子 | |
| ⑦ イヤホン出力(Φ3.5mm) | ⑧ AV入力端子(RCA) | ⑨ USB2.0ポート |
| ⑩ 衛星放送用アンテナ入力端子(BS/CS) | | |
| ⑪ 地デジ放送用アンテナ入力端子(UHF) | | |
| ⑫ miniB-CAS挿入口 | ⑬ HDMI入力端子 | ⑭ 設置用スタンド |

各部名称（リモコン）

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。

① 電源ボタン

電源のON/OFF(スタンバイ状態)切換

② 消音ボタン

音量を消音(ミュート)状態に切換

※再度押すと元の音量に戻る

③ 数字ボタン

チャンネル選局など数字入力時に使用

④ dデータボタン

視聴中番組のデータ放送を表示

⑤ 画面表示ボタン

受信中の放送局の情報等を表示

⑥ 録画リストボタン

録画したデータのリストを表示

⑦ メニューボタン

各設定メニューを表示

⑧ 3桁入力ボタン

放送局の3桁チャンネル番号を選局

⑨ 方向ボタン(▲▼◀▶)

設定画面や番組表のカーソルを移動

⑩ 決定ボタン

各操作や設定の決定(実行)

⑪ 録画ボタン

視聴中の番組をダイレクト録画

⑫ 戻るボタン

一つ前の操作に戻る

⑬ 情報ボタン

「番組表」「番組情報」「サブメニュー」を表示

⑭ 音量調整ボタン

音量の +/− 調整

⑮ チャンネル切換ボタン

視聴チャンネルを登録順に切換

⑯ 入力切換ボタン

外部機器を利用する場合のモード切換

⑰ 視聴波切換ボタン

視聴する放送波(地上波/BS/CS)の切換

⑱ カラーボタン(青/赤/緑/黄)

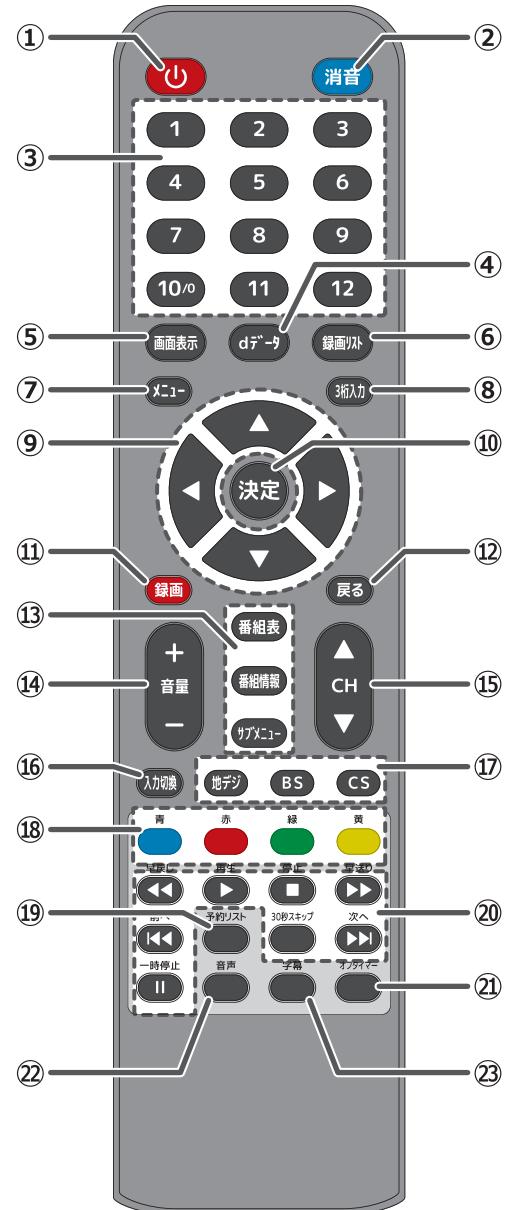
番組表や録画データ視聴時等に使用

⑲ 予約リストボタン

設定した予約(視聴/録画)のリストを表示

⑳ データ操作ボタン

録画データや外部保存データの操作時に使用



㉑ オフタイマーボタン

電源オフタイマーの設定

㉒ 音声設定ボタン

副音声等の音声の切換・設定

㉓ 字幕設定ボタン

字幕放送等の字幕の切換・設定

リモコンについて

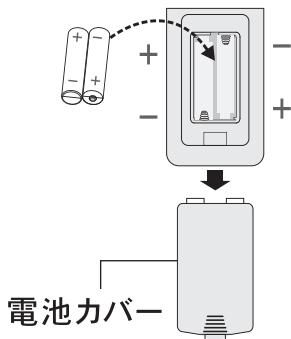
(電池交換 / 使用方法)

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格は単4型(LR03)です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に同梱されている電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

◎電池の取付け(交換)方法

- ① リモコン背面の電池カバーを取り外します。
- ② 電池の向き(+/-)に注意して乾電池をセットします。
- ③ 電池カバーを元に戻します。



△ 注意

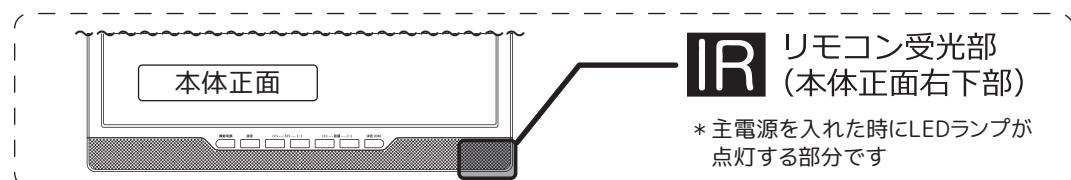
- 乾電池は新品と使用品を混ぜて使用しないでください。
- 長時間リモコンを使用しない時は、電池の液漏れを防ぐ為、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄する場合、各自治体の指示に従って処理してください。

△ 警告

- 乾電池を直射日光の強いところや炎天下の車内・暖房機器の側など、高温な場所で使用や放置をしないでください。液漏れや発熱・破裂・発火などの原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

◎リモコンの使用方法

- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、±30°、距離は3m以内です。



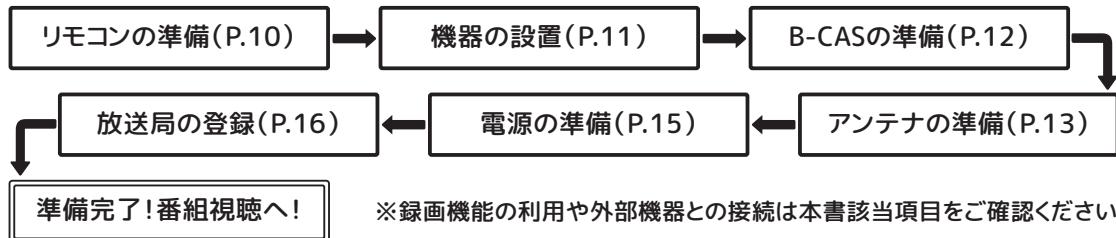
IR リモコン受光部
(本体正面右下部)

* 主電源を入れた時にLEDランプが
点灯する部分です

※本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

ご視聴前の準備

- ご視聴前の準備
- ご利用前に下記手順で本機やアンテナなどの設置や設定を正しく行ってください。

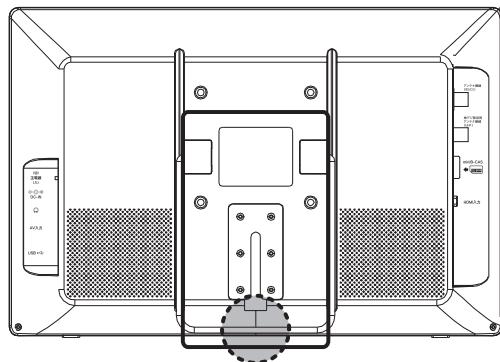


※録画機能の利用や外部機器との接続は本書該当項目をご確認ください

機器の設置

- スタンドを利用して設置する

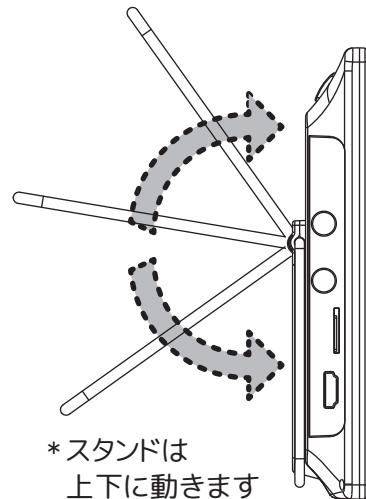
背面・側面



●部分からスタンドを引き出します

(据置き設置の場合はお好みの角度に調整してください)

(吊り下げ設置の場合は上部まで引き上げてください)



*スタンドは
上下に動きます

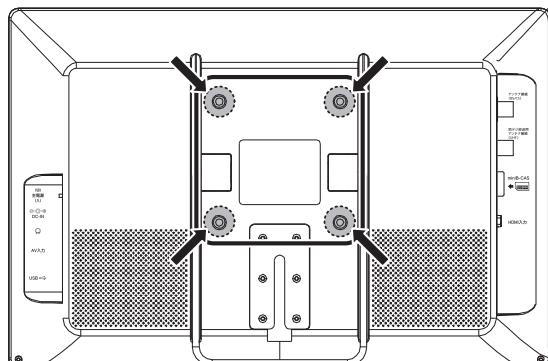
- 市販の壁掛け金具を利用する

*本機背面にはる壁掛け設置用ネジ穴があります。

市販されている壁掛け金具等を利用する場合、
その規格をご確認ください。

本機規格:VESA75 (ネジ:M4)(75×75mm)

(注意!) 市販の壁掛け金具等の設置は、
専門の業者やお買い上げ店舗等にご依頼ください。
設置方法が不適切な場合、テレビが落下してケガや
故障の原因となる場合があります。



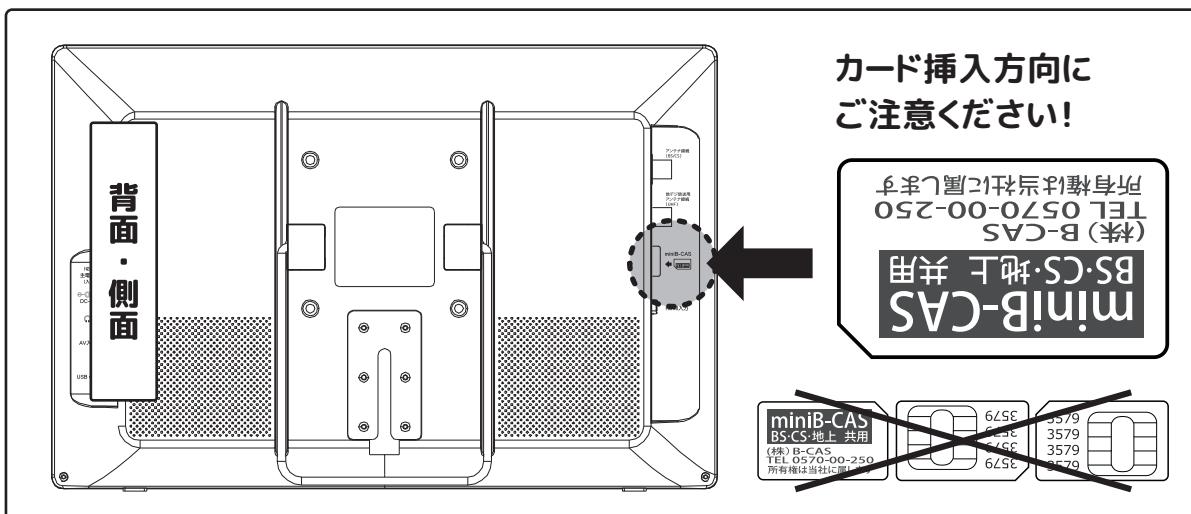
△ご注意(ご確認)ください

※極端に温度や湿度が高い(または低い)場所への設置は行わないでください。故障や変形などの原因となる場合があります。特に車でご利用される場合、極所に放置等にご注意ください。

※車でご利用の場合、運転中の操作や視聴は事故などの原因となる場合があり大変危険ですので絶対に行わないでください。

B-CAS カードの準備

■各放送番組をご視聴される際は、B-CAS(miniB-CAS)カードの常設が必須です。
以下ご参照の上、正しく装着してください。

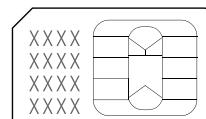


- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て左側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「ラベル面が見える」「角欠け部分が下向き」の方向に真っすぐに押し込みます。(奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます)
(注) 誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。
- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
(バネの力で押し戻されてカードが排出されます)
(注) カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。

miniB-CAS カード



←
ラベル面
(表)



←
端子面
(裏)

(参考) B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。

B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問い合わせ先は下記の通りです。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター

TEL : 0570-000-250

△ ご注意(ご確認)ください

※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。

地デジ放送(フルセグ)及び衛星放送(BS/CS)をご視聴される場合、B-CASの取付けが必須です。

(本機ではワンセグ放送サービスの受信(視聴)はできません)

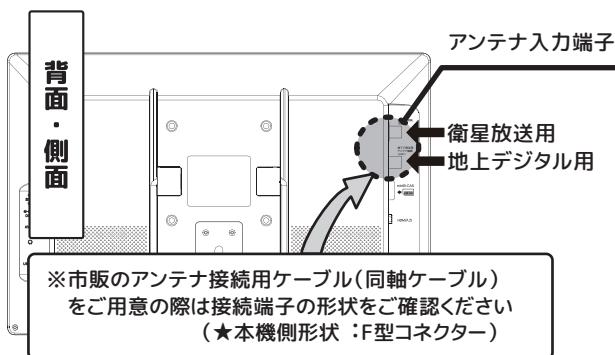
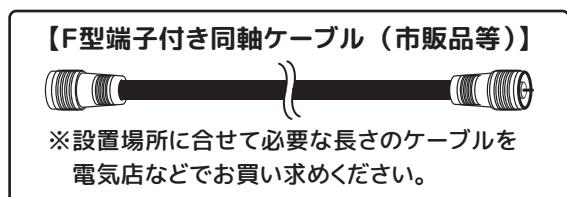
アンテナの準備

■地デジ放送(UHF)および衛星放送(BS/CS)受信用アンテナとの接続

- 各放送サービスのご視聴にはそれぞれに対する受信用アンテナとの接続が必須です。各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

*アンテナについてのご注意

UHFアンテナ(地上デジタル用)および衛星放送受信アンテナ(BS/CS用)が設置されているかをご確認ください。各放送が受信可能なアンテナと本機を正しく接続しないと放送番組はご覧いただけません。アンテナの設置やご購入については、電気店や専門の設置業者などにご相談ください。※本機と接続したアンテナの受信レベルが低い場合、画像がモザイク状になったり音声のみになるなどの症状が起こる場合があります。この場合、アンテナの位置調整やブースター(又は減衰器)等の増設などが必要になる場合があります。

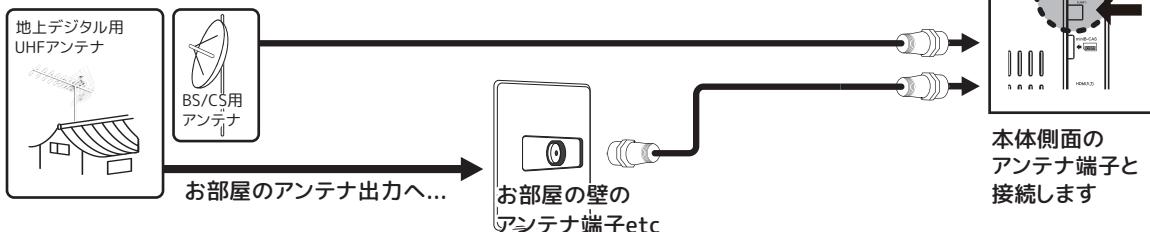


接続のしかた

■地デジ放送(UHF)と衛星放送(BS/CS)の信号が混合されている場合



■地デジ放送(UHF)と衛星放送(BS/CS)の信号が個別の場合



△ CATV社(ケーブルテレビ)や集合住宅等の共同アンテナの場合

※CATV社や集合住宅等の共聴システムでお部屋に伝送されている場合、パススルー方式(受信した電波をそのまま伝送される方式)で伝送された各放送波のご視聴が可能です。
その他の方式(トランスモジュレーション方式など)で伝送された電波と本機を接続しても、正しく映像化されずご視聴いただけない場合があります。
詳しくはCATV社や共聴システム管理者へお問合せください。
※アンテナや配線を他の電気機器等に近接しないでください。
受信障害の原因となる場合があります。



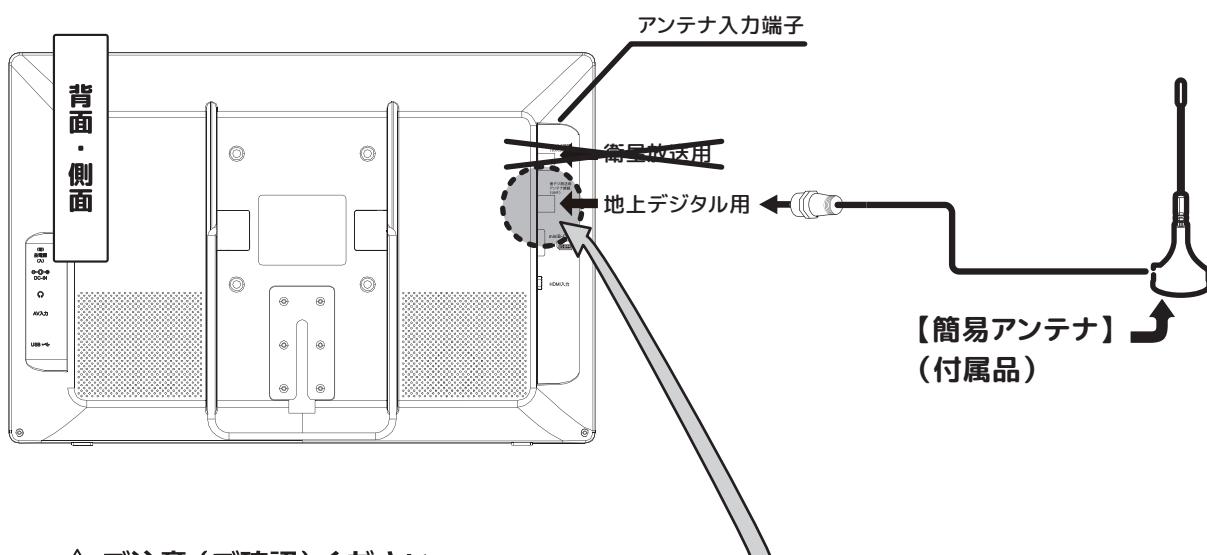
ケーブルテレビ各社

アンテナの準備

■屋外などでご視聴される場合(簡易アンテナ(付属品)の利用)

- 付属品のアンテナは地上デジタル放送受信用の簡易的なアンテナです。
このアンテナを利用して衛星放送(BS・CS)サービスのご視聴はできません。
また、ブースター(電波増幅装置)等は内蔵されておりませんので、屋内・地下・山間部などの電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合は、別途市販品等の受信力の高いアンテナを本機と接続してご利用ください。

接続のしかた



△ご注意(ご確認)ください

※付属品アンテナを取付ける場合、必ず「地上デジタル用」のアンテナ端子に取付けてください。
「衛星放送用」の端子に取付けても各放送サービスのご視聴はできません。

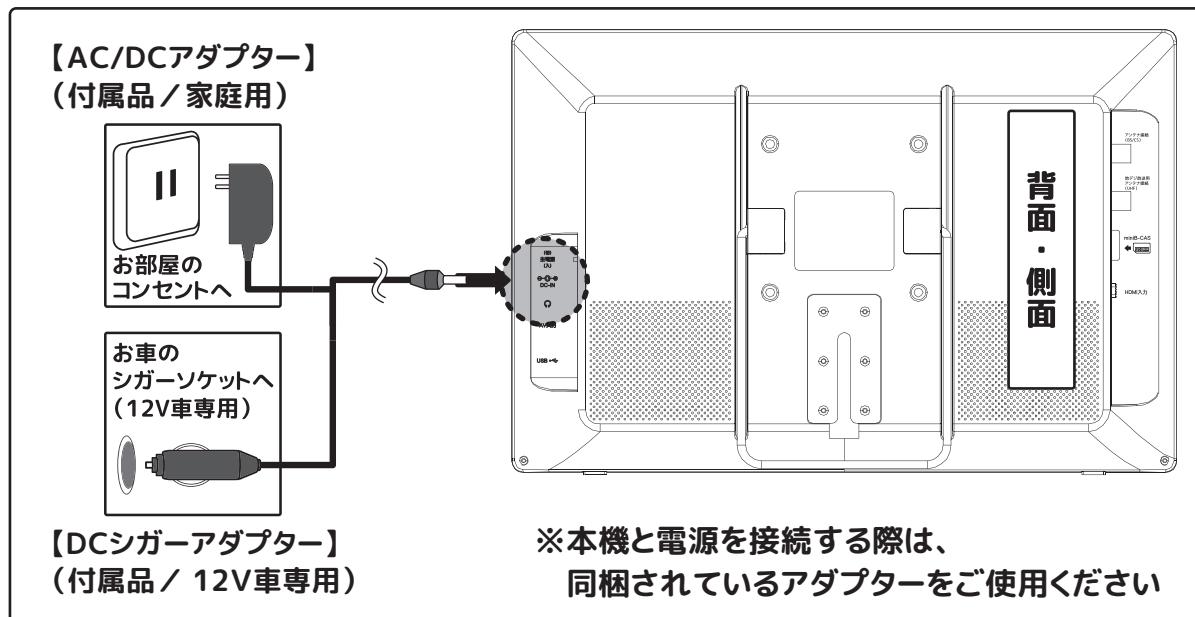
△ご注意(ご確認)ください

※付属品アンテナでは衛星放送サービス(BS・CS)の受信・ご視聴はできません。
※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。
※付属品アンテナを利用した場合、他の機器(携帯電話やラジオなど)でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

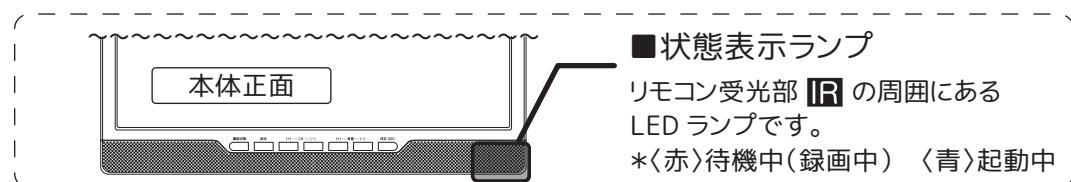
電源の準備

◎電源の接続

- ① 本体側面の主電源スイッチがオフ（切）であることを確認します。
- ② 本体側面の「電源入力端子」と「電源アダプター（AC又はDC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。



- ③ 本体の主電源スイッチをオン（入）にして、状態表示ランプを確認します。
〈赤〉待機状態 〈青〉点灯=起動中／点滅=録画機能（予約/録画）作動中
状態表示ランプが〈赤〉の場合、リモコンの【電源ボタン】を押して本体を起動します。



ヒント) 状態表示ランプが点灯していないとリモコン等では一切操作できません。
本体側面の主電源スイッチをご確認ください。

△ご注意（ご確認）ください

- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ（切）の状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)

初期設定(かんたん設置設定)

◎お買い上げ初期時に初めて電源を入れた時、地上デジタル放送のかんたん設置設定画面が表示されます。設置地域に合わせた設定を行ってください。



注意 ●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

- ①電源プラグが正しく接続されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CAS カードが正しく挿入されていること

1 電源を入れる

コンセントに電源プラグを差し込み、本体側面にある主電源スイッチをオンにすると表示ランプが青色に点灯して本機システムが起動してかんたん設置設定が画面上に表示されます。
(主電源スイッチ「オン」の状態でリモコンの電源ボタンを押すと表示ランプが赤に変わりスリープオフとなります)
※システム起動から画面表示まで十数秒程度かかります。

2 かんたん設置設定

初期設定がはじまります。
「次へ」が表示されたら【決定】ボタンを押します。
※メインメニューの「かんたん設置設定」から
再設定を行うことが可能です。

以下の準備を確認してください。
準備を終えていない場合、【戻る】ボタンを押して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いた後
以下の準備を行ってください。
*アンテナ線の接続
*B-CASカードの設置

次の項目は「ご家庭用」を選択して【決定】ボタンを押します。
※「店頭用」は販売店向けの仕様です。
一般利用時は使用しません。
※本機は一般家庭用です。業務用途としてご利用された場合、無償保証の適用外となります。

3 郵便番号設定

郵便番号を設定します。【数字】ボタンで本機をご利用される地域の郵便番号を入力してください。
入力完了後、【決定】ボタンを押します。

かんたん設置設定

お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために各種設定を行います。



かんたん設置設定

以下の準備はお済みですか？
お済でない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を「入」にしてください。
・アンテナ線の接続
・B-CAS カードの挿入



かんたん設置設定

画質の調整を設定します。
テレビの画質をご家庭用に設置するか、
店頭用に設置するかを選択してください。

ご家庭用 店頭用



かんたん設置設定

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために
必要です。

青 赤 緑 黄
—文字削除

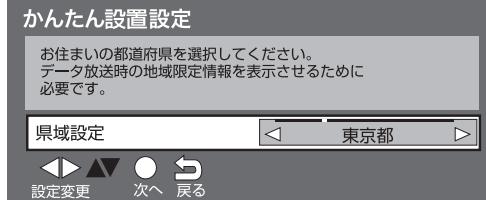


1 ~ 10 番号入力

初期設定(かんたん設置設定)

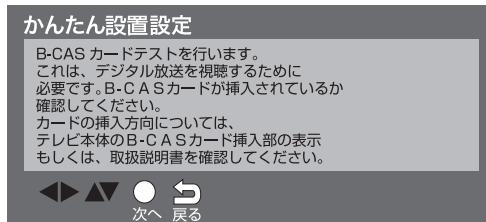
4 都道府県設定

本機をご利用される都道府県を選択し、
【決定】ボタンを押します。

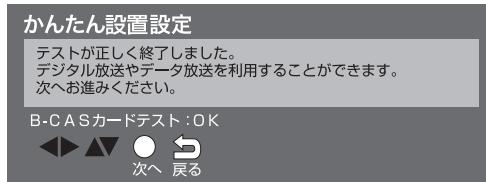


5 B-CASカードテスト

B-CASカードのテストを行います。
正しくカードが挿入されていることを確認の上、
【決定】ボタンを押します。



「B-CASカードテスト:OK」と表示されたら【決定】ボタン
を押して次へ進みます。



6 初期スキャン

初期チャンネルスキャンを開始します。
地上波アンテナが本機の「地デジアンテナ端子」に正しく
設置されていることをご確認ください。
確認後、【決定】ボタンを押します。

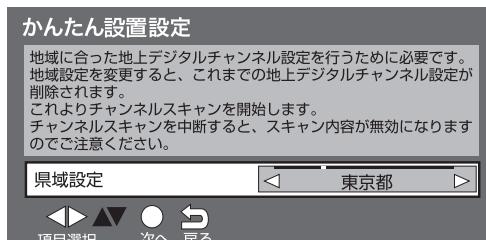
画面上に地域確認が表示されます。
ご利用される地域であることを確認の上、
【決定】ボタンを押します。

受信帯を選択します。
通常、屋根から引き込まれたアンテナ等をご利用される
場合、「UHF」を選択して【決定】ボタンを押します。

※本機ではUHF周波数帯の受信波を受像化することが
可能ですが、CATV社経由やインターネット回線等による
アンテナ伝送の場合、別途STBなどが必要な場合が
あります。詳しくはCATV各社や建物管理者等にご確認
ください。

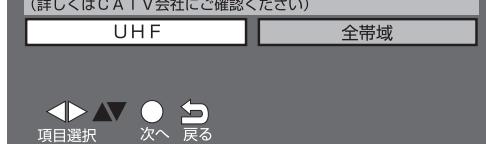
かんたん設置設定

これより地上デジタルチャンネル設定を行います。
地上波アンテナ線が接続されているか確認して
ください。
次の場合は、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない。



受信帯選択

通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ(CATV)等で、地上デジタル放送が受信でき
なかったときに「全帯域」を選ぶと、受信することができます。
(詳しくはCATV会社にご確認ください)



初期設定(かんたん設置設定)

6 初期スキャン(つづき)

チャンネルスキャンが開始されます。
ご利用される地域の地デジ放送局を受信/登録します。
完了するまでしばらくお待ちください。

チャンネルスキャン

受信可能なチャンネルを調べています。
しばらくお待ちください。
中断すると、それまで行ったスキャン結果がすべて無効になり、
スキャンのやり直しを行う必要があります。



チャンネルスキャンが完了すると、画面が右図の表示に変わります。

(リモコン1~12までのCH名等を薄く表示)
表示内容を確認の上、問題が無ければ、
「次へ」を選択して【決定】を押します。

※「修正する/確認する」を選択すると、
薄く表示された部分が濃くなり、各チャンネル
の受信状況等が確認できます。

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認		アッテナーター オフ		
リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル
1	011	NHK 総合・東京	テレビ	80 高
2	021	NHK E テレ東京	テレビ	80 高
3	031-0	テレビ	テレビ	80 高
4	041	日本テレビ	テレビ	80 高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80 高
6	061	TBS	テレビ	80 高
7	071	テレビ東京	テレビ	80 高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80 高
9	091	TOKYO MX	テレビ	80 高
10	031-1	チバテレビ	テレビ	80 高
11	—			
12	021			

NHK 総合・東京

チャンネル修正／アンテナレベル確認

修正する／確認する 次へ



7 アンテナ電源

衛星放送(BS/CS)受信用アンテナへの電源供給を選択します。

衛星放送用アンテナを接続しない場合、
「接続しない」を選択します。
本機から衛星放送用アンテナ側へ電源供給が必要な場合、
「アンテナ電源オン」を選択します。
本機から衛星放送用アンテナ側へ電源供給が不要な場合、
「アンテナ電源オフ」を選択します。
選択後、【決定】ボタンを押します。

かんたん設置設定

衛星アンテナへの電源供給を選択します。
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択してください。
映像が正常に映っている場合は「アンテナ電源オフ」を選択してください。映っていない場合は「アンテナ電源オン」を選択してください。

アンテナ電源オフ アンテナ電源オン 接続しない



(次の表示は既に受信完了しているのでここでは特に操作は必要ありません。そのまま【決定】ボタンを押します。)

●かんたん設置設定はこれで終わりです。
番組を視聴してください。

かんたん設置設定

番組データを受信するには時間がかかる場合があります。
受信するには、リモコンで電源を「切」にしてお待ちください。



かんたん設置設定

かんたん設置設定はこれで終わりです。



■ 設定を完了しても何も映らないときは・・・

アンテナと本機との接続が正しくない可能性があります。以下をご確認のうえ再度設定をお確かめください。

①地上デジタル放送の受信方法はどちらですか？

屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混合アンテナになっているかご確認ください。
詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

ケーブルテレビの場合

ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパスマスター方式であるかご確認ください。伝送方式が不明な場合はご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

②地上デジタル放送の受信強度は50以上ですか？(受信強度の確認方法は【サブメニュー】の「アンテナレベル」で確認してください)。

50未満の場合

電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買い上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。

アンテナ受信レベル

(アンテナの確認)

〈設定しても放送が正しく映らない場合〉

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。
「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

① デジタル放送の受信方法の確認

■ 屋外アンテナの場合...

地上デジタル放送受信には「地デジ用UHFアンテナ」が、BS/CSデジタル放送受信には「BS/CS受信用アンテナ」が必要です。本機と接続したアンテナが各放送受信用アンテナであるかどうかをご確認ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください)

■ ケーブルテレビ社や共聴システムの場合...

デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送(CATV)やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、電波の伝送方式が「同一周波数パスループ方式」で伝送されていることをCATV社や共聴システム管理者などにご確認ください。(本機では変調されて伝送された放送波の受信/受像化はできません)

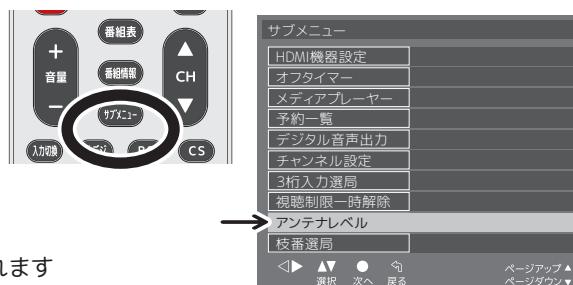
② デジタル放送の受信強度(アンテナレベル)の確認

■ 以下記載の〈アンテナレベルの確認方法〉を参照に受信強度をご確認ください

*『50』未満の場合...「アンテナの設置位置が悪い」「電波が弱い」「電波障害が起きている」などの可能性がありますのでお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。
*『50』以上の場合...アンテナ線などの接続方法などをご確認の上、チャンネルの再スキャン設定を行ってください。

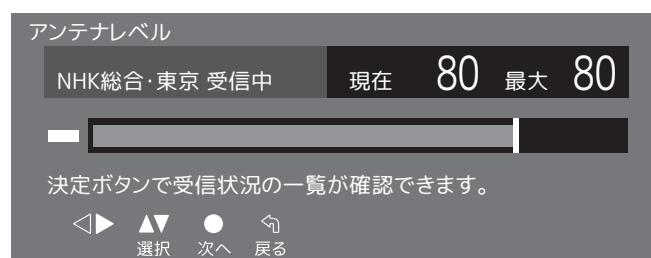
〈アンテナレベルの確認方法〉

1. リモコン【サブメニュー】ボタンを押して、サブメニューを表示します



2. 「アンテナレベル」を選択して【決定】ボタンを押します

3. 現在受信(視聴)中の放送局のアンテナレベルが表示されます



※受信局のアンテナレベル表示中に【決定】ボタンを押すと「受信状況の一覧」を確認できます

⚠ 注意

- アンテナレベルが低いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベル（目安：50以上～）を確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。
アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

テレビの視聴と設定

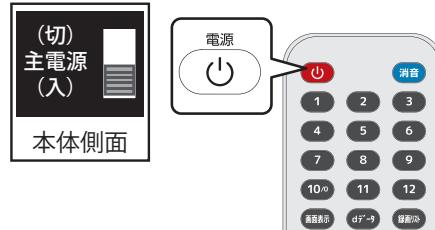
（注意）画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

主電源を入れる/切る

コンセントに電源プラグを差し込む

→本体側面の主電源スイッチをオンにする（ランプ青点灯）

→本体側面の主電源スイッチをオフにする（ランプ消灯）



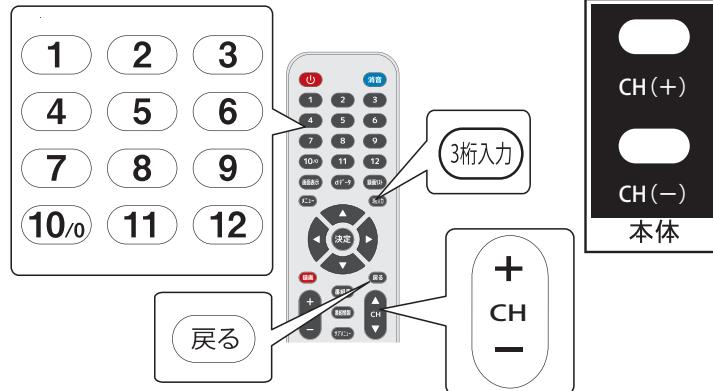
リモコンで電源操作する

リモコン【電源】ボタンは本体主電源をオンにした状態でのみ操作が可能です。

※表示ランプ青点灯：駆動状態 / 表示ランプ赤点灯：スタンバイオフ状態

チャンネルの切換え

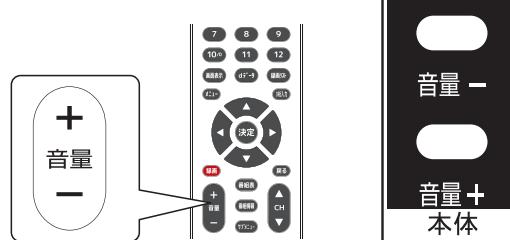
- ① 数字ボタンで視聴チャンネルの選択する
- ② 本体またはリモコンの【CH(+)/(-)】ボタンで視聴チャンネルを選択する
- ③ 【3桁入力】ボタンを押してCH番号を入力し、視聴チャンネルを選択する



音量を調節する

本体またはリモコンの

【音量(+)/(−)】ボタンを使用して、音量を調節します。



消音

リモコンの【消音】ボタンを押すと音声が消えます。

消音状態で再度【消音】ボタンを押すと音声が出ます。



受信チャンネル情報を表示する

リモコンの【画面表示】ボタンを押すと現在視聴中のチャンネル情報を表示されます。

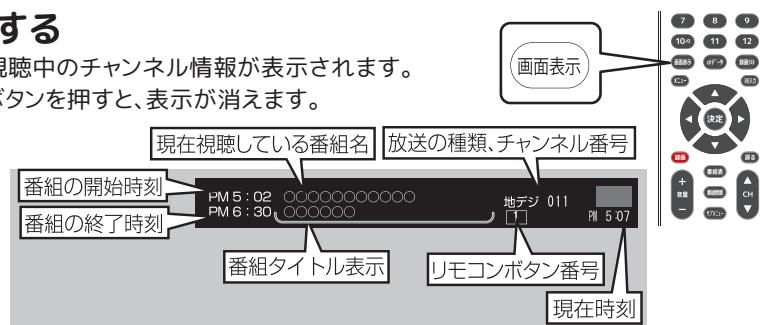
チャンネル情報表示中に再度【画面表示】ボタンを押すと、表示が消えます。

※視聴中の番組終了時刻3分前から

次の番組名も表示されます

※選局時には一部省略された状態で

表示されます



テレビの視聴と設定

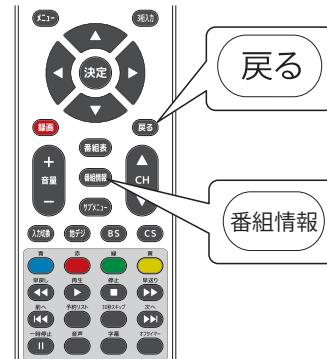
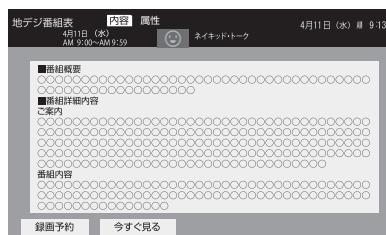
（注意）画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

番組情報を表示する

リモコンの【番組情報】ボタンを押すと現在視聴中の番組の情報が表示されます。チャンネル情報表示中に再度【番組情報】ボタンを押すと、表示が消えます。

※番組情報の取得や表示には時間がかかる場合があります

※番組情報を取得するタイミングによっては最新情報に更新されない場合があります

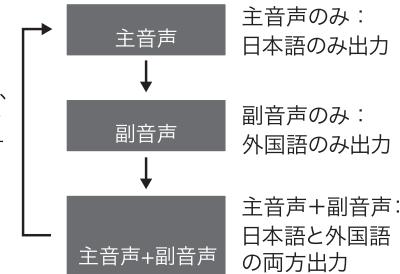


音声を切り換える

音声多重放送を視聴中の場合、リモコンの【音声】ボタンを押すごとに音声を切り換えることが可能です。

※音声多重放送は二重音声やマルチ音声などがありますが放送内容によっては表示が右図と異なる場合があります
※ステレオやモノラルで放送されている場合、音声を切り換えられない場合があります

主音声で日本語、副音声で外国語というように二ヶ国語で放送している場合。



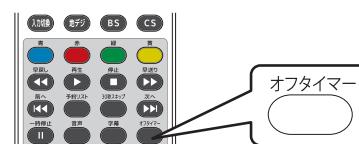
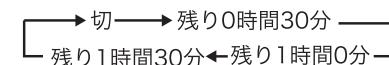
オフタイマーを利用する

設定した時間経過後に電源を切る（スタンバイ状態）にすることができます。

リモコンの【オフタイマー】ボタンを押すごとに、設定時間が右図のように切り換わります

※オフタイマー設定中に再度オフタイマー操作を行うと、設定中のタイマーはリセットされます

※タイマー時刻の30秒前から段階的に画面が暗く・音声が小さくなります

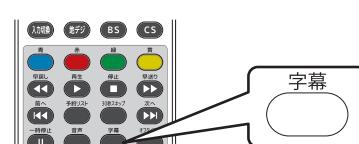


字幕を表示する

字幕放送を視聴中の場合、リモコンの【字幕】ボタンを押すと字幕が表示されます。

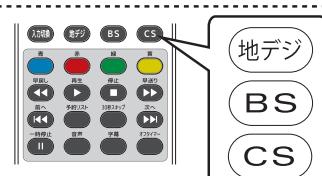
※放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります

※字幕は放送データの信号や処理速度により多少画面との時間のずれが生じる場合があります。



放送切換

本体やリモコンの各放送ボタンを押すと、その放送を視聴することができます。



各ボタンを押すだけで各放送へ切り換わります。

テレビの視聴と設定

〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

入力切換

リモコンの【入力切換】ボタンを押すと入力切換タグが表示されます。
ご利用される機能に合わせて切り換えます。

→ テレビ → HDMI → ビデオ



※本体の【機能切換】ボタンで操作した場合、地デジ → BS → CS → HDMI → ビデオの順に切り換わります

番組表

■デジタル放送の番組表は、放送波で伝送される情報により表示されます。
「お買い上げ直後」「電源を入れた直後」「受信波の種類を変えた時」など、
状況によってデータ取得や表示に時間がかかる場合があります。
番組表を最新の状態にしておく為、本機の電源を毎日2時間以上「切」または
「スタンバイ」にすることをお勧めします。

1. 地デジ視聴中に【番組表】を押すと、番組表が表示されます。
2. 翌日の番組表を表示する時は【黄】を押します。
3. 前日の番組表を表示する時は【緑】を押します。
4. 番組表内の番組名を選択して【決定】を押すと、その番組内容を確認できます。
5. 「視聴予約」を選択すると、その番組視聴を予約設定します。
6. 「録画予約」を選択すると、「録画予約設定」に切り換わります。
7. 受信波の種類を変える時は【地デジ】【BS】【CS】を押します。
8. 番組表を消す時は【戻る】を押します。

※取得できる番組表情報は最大8日分です。

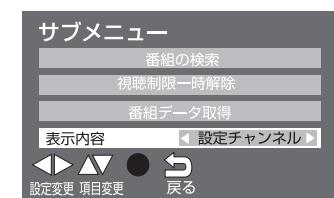
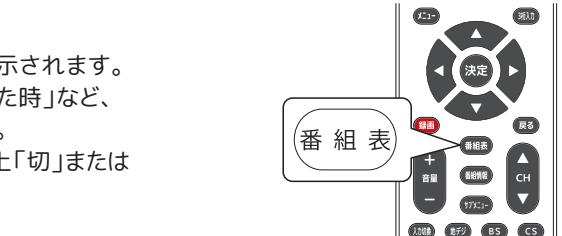
※データ放送の視聴中は番組表に切り換わらない場合があります。この場合、テレビ放送に切り換えてから操作します。
※番組の中止・変更・延長などにより、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

番組表を更新する

1. 番組表の中が空欄の場合、その空欄の放送局を選択して【決定】を押します。
2. 【サブメニュー】から「番組データ取得」を選択して【決定】を押します。

番組表の表示する内容を変更する

1. 番組表を表示中に【サブメニュー】を押します。
2. 「表示内容」を選択→「表示チャンネル数」を選択→【決定】を押します。



テレビの視聴と設定

〈注意〉画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

番組表(つづき)

■ジャンルを選んで番組を探す

1. 番組表を表示中に【サブメニュー】を押します。

2. 「番組の検索」→「ジャンル検索」

→「メインジャンル」→「サブジャンル」の順にお好みのジャンルを選択して【決定】で進めます。

■番組内容について

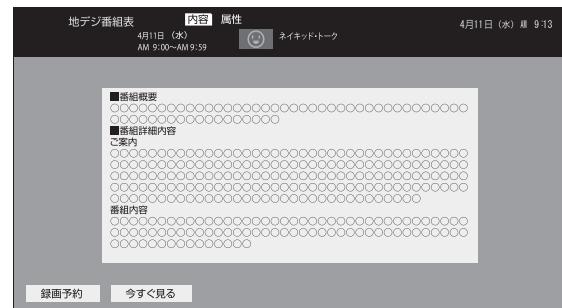
*「内容」は番組の内容を表示

*「詳細」は情報がある場合、画像等で詳細な内容を表示

*「属性」は放送方式等の情報を表示

※項目を右へ移動する際は【赤】

左へ移動する際は【青】ボタンを使用します。



d データ

一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、その番組に参加して楽しむことができます。

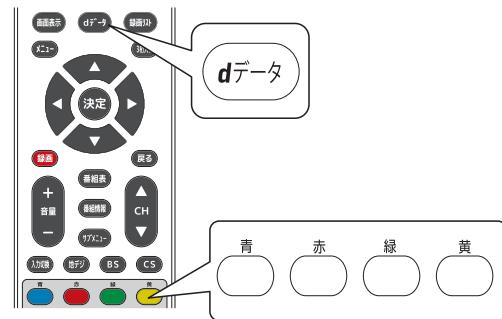
また、テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

これらのデータ放送を視聴する場合、リモコンの【dデータ】ボタンを押します。

※データの取得/表示するまでに時間が掛かる場合があります

※双方向サービスを利用する場合、画面上の指示に従って操作します

※データ放送を表示中に【dデータ】を押すと、地デジ放送表示に戻ります



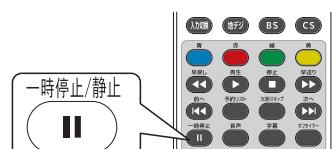
一時停止機能

■地デジ視聴中にリモコンの【一時停止】ボタンを押すと、映像が一時停止(静止)状態になります。

■解除する場合、再度【一時停止】を押します。

※無操作のまま静止状態で10分経過すると、静止は解除されます

※映像静止中でも音声は流れます



「録画」に関する機能や操作

録画機能に関する注意

録画機能をご利用いただく前に下記をよくお読みいただき正しくご理解の上でご利用ください。

- 本機は〈シングルチューナー〉搭載モデルです。裏番組録画機能(視聴中の番組以外の番組を録画する機能)はありません。
- 本機には記録用ディスク(メモリー)は内蔵されておりません。録画に関する機能をご利用される場合、別途市販のUSB-HDD(ハードディスク)をご用意ください。
(本機で番組録画用としてご利用可能なUSB-HDDは容量500GB～2TBまで電源供給型HDDです)
- 「電源非供給型のUSB-HDD(USBバスパワータイプ)」「USBフラッシュメモリー」および「フラッシュSSD(ソリッドステートドライブ)」は使用出来ません。これらに対する製品の動作保証／サポートはありません。
- 本機では複数台のHDDとの接続や使用はできません。USBハブ等は使用しないこと。
録画用として利用するHDDは本機と接続したあと、本機でHDDをフォーマット(初期化)を行う必要があります。
- HDD内にデータが保存されていた場合、フォーマットを行うと全て消去されますのでご注意ください。
録画用として利用するHDDは事前に「試し録画」を行い、動作の確認を行ってください。
- 本製品で録画したデータを他の機器(パソコンなど)で再生することはできません。
- HDDを使用中(アクセス中)に無理に本製品から取り外すと、HDDやそのデータが破損したり、その後の正常な駆動に支障をきたす場合があります。HDDの取り外しは本書P.26を参照の上、「USB-HDDを取り外す操作」を正しく行ってください。
(本機の起因等に関わらず、データの破損・消失等による損害に対して当社は一切の責任を負いません)
- 録画中に入力ソースを「テレビモード」以外に切り換えないでください。
何らかの理由(主電源が切れる・受信波が途切れる・など)で録画が中断した場合、データ破損により再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約8日後まで取得できます。番組ガイドで表示されない先の日付を予約する場合、日付指定設定を行ってください。
- コピー禁止の番組や、外部機器(DVDプレーヤーなど)からの入力データを録画(記録)することはできません。
- 録画は本機で受信したテレビ放送番組のみ可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの改ざんやコピーは絶対に行わないこと。
故障などの理由で本機を修理(交換)した場合、以前記録したデータは視聴ができなくなる場合があります。
予めご了承ください。
- 本機で録画したデータは〈個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲〉内でお楽しみいただく以外には、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。また、同範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変を行ったりインターネットなどで送信や掲示を行うことは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利の侵害となりますのでご注意ください
 - ・録画した番組を自身のホームページやSNS等に掲載する／メールなどで他人に送る
 - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反した場合、刑事処罰を受ける場合もあります。自己責任のもとでご利用ください。
(著作権法違反により生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません)

ディスク(メモリー)の準備

番組録画用としてご利用いただけけるディスク

◎録画に関する機能をご利用される場合、別途USB-HDD(ハードディスク)が必要です。

●USB2.0(TYPE-A)接続が可能な外付けHDD(ハードディスク)

*標準規格：USB2.0

*容量：500GB～2TB

*ファイルシステム形式(フォーマット)：NTFS形式

*『電源供給型(電源アダプター等が付属されている物)』

(注)[USBバスパワータイプ][USBフラッシュメモリ][フラッシュSSD]は使用できません

録画用HDDご購入の前に…

録画機能用として市販のHDDご用意される場合、「PCデータ保存用外付けHDD」として市販されているHDDをご用意ください。「TV録画専用HDD」などとして販売されている製品の場合、弊社製品とはリンク条件やフォーマット方法が異なり使用できない場合があります。

(!重要) 市販されている全ての外部機器(外付けHDD等含む)との接続や利用が可能ではありません。また、外部機器(外付けHDD等含む)の利用に関する無償保証／カスタマーサポートは付与しておりません。外部機器(外付けHDD等含む)の利用はお客様の責任でご利用ください。

△メディアプレーヤーソフトを使う場合…

※本機にはメディアプレーヤー機能が搭載されています。この機能で利用ができるメモリーの仕様は録画機能用ディスクとは異なりますのでご注意ください。 (※P.31「メディアプレーヤーソフト」参照)

*標準規格:USB2.0 *容量:16GB～1TB *フォーマット形式:FAT32またはNTFS

*HDD(ハードディスク)の場合、電源供給型の物を推奨

(!重要) ディスクを録画用としてご使用される場合、本機で録画専用のフォーマットを行う為、メディアプレーヤー用USBメモリーとしての共用/併用はできません。

ディスク(メモリー)を取り付ける

(メディアプレーヤー用)USBメモリー

(番組録画用)外付けHDD

電源プラグ

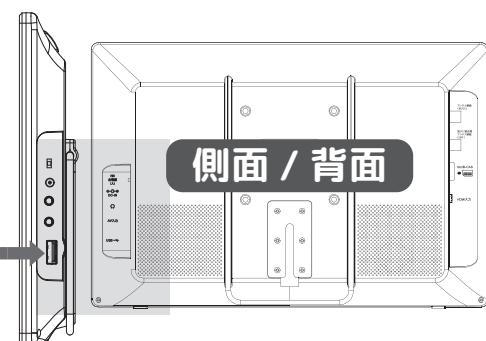
電源コード
※電源供給型の外付けHDD
(標準規格 -USB2.0)

テレビ側の電源を入れる前に、
HDD側の電源を入れてください。

USBケーブル
(市販品など)

TV側へ

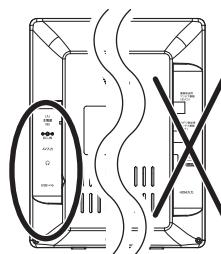
側面 / 背面



△ご注意(ご確認)ください

※USBポートに正しく接続してください。

※パソコンやその他機器で利用していたメディアを再利用する場合、ご利用前に他のメディア等にデータのバックアップをとることを強く推奨いたします。



ディスク(メモリー)の準備

HDDを録画用ディスクとして登録／フォーマットする

(!重要)HDDを録画用として本機に登録すると、ディスクはフォーマットされ全てのデータが消去されます。

■録画用として登録していないHDDについて

- HDDを接続した時に、登録メッセージが表示された場合、画面の指示を確認して登録・設定を行ってください

■録画用として登録していないHDDを手動で登録/フォーマットする場合…

- ① リモコンの【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示する

- ② 「機器設定」を選択して【決定】→「USB機器管理」を選択して【決定】→「USB機器一覧」を表示する

*登録[録画用]…

録画/再生用としてフォーマット/登録されています。

番組の録画/再生が可能です。

*登録.....

データ再生用として登録されています。

このディスクに録画をすることはできません。

*未登録.....

登録されていないディスクです。

このディスクに録画をすることはできません。

(メディアプレーヤーソフトでの使用は可能です)

- ③ 未登録のHDDを選択して【決定】を押す

- ④ 画面の指示を確認して登録・設定を行う

※録画用として要件に合っていないディスク(USBフラッシュメモリなど)の場合、登録作業はできません。

USB 機器一覧					
機器	接続	モデル名	表示名	モード	録画可能時間
1	接続	○○○○		未登録	
2	未接続	○○○○○○○○	○○○○	登録 [録画用]	○○:○○
3	未接続	○○○○○○	○○○○	登録	○○:○○
4	未接続	○○○○○○	○○○○	登録	○○:○○
5					
6					
7					
8					
9					
10					

■HDDの詳細情報を見る

- 接続しているHDDの詳細情報を確認することが出来ます。

*「USB機器一覧」で確認したいHDDを選択して【赤】ボタンを押す→表示される詳細情報を確認する

■HDDの表示名を変更する

*「USB機器一覧」で変更したいHDDを選択して【緑】ボタンを押す→文字入力画面が表示される

→変更する名前を入力して【赤】を押す *(スペース)のみの名称は登録できません

■HDDを再登録する

- 接続しているHDDの再登録を行うと、改めて録画用として使用できます。

*「USB機器一覧」で再登録したいHDDを選択して【決定】ボタンを押す

■HDDの登録を削除する

- 登録しているHDDが8台を超えた時は、使用しなくなったHDDの登録を削除します。

登録を削除したHDDは未登録となります。の再登録を行うと、改めて録画用として使用できます。

*「USB機器一覧」で登録を削除するHDDを選択して【黄】ボタンを押す

■HDDを本機から取り外す

- HDD側の電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたるする時は、先にこの操作を行います。

*「USB機器一覧」で本機から取り外すHDDを選択して【青】ボタンを押す

※ HDDに保存されたデータ保護の為、取り外す前に必ずこの操作を行うことを推奨します。

※ 本機側の主電源が「オフ」の時は、この操作は不要です。

容量と録画時間の目安

※番組のデータ量等により変化します

番組データ1秒あたり 約 1.70MB の場合 ≈ 容量 1GB あたり約 10 分間録画

空き容量 15GB のメディアでは、約 2.5 時間分の録画が可能

(!重要) 市販されている全ての外部機器(外付けHDD等含む)との接続や利用が可能ではありません。

また、外部機器(外付けHDD等含む)の利用に関する無償保証／カスタマーサポートは付与しておりません。外部機器(外付けHDD等含む)の利用はお客様の責任でご利用ください。

録画設定

■ 本機に取り付けたHDDで番組録画/再生を行うための基本的な設定を行います。

- リモコンの【メニュー】ボタン → 「機器設定」を選択して【決定】→ 「録画設定」を選択して【決定】

録画設定	
自動予約	オン
録画ボタン設定	3時間録画
オートチャプター	オン
USB HDD機能待機	オン

* 自動予約：オン/オフ... ※自動予約については「P.28~29:番組表から録画を予約する」を参照

* 録画ボタン設定：番組終了/3時間録画

...録画ボタンで視聴中の番組を直接録画するときの「録画時間」を設定します
 (番組終了:録画中の番組が終了すると録画が自動停止します)
 (3時間録画:【録画】ボタンを押してから3時間後に録画を停止します)

* オートチャプター：オン/オフ

...番組録画中に、自動でチャプターマークを付けるための設定を行います
 (オン:録画データに自動でチャプターマークを付けます)
 (オフ:録画データにチャプターマークを付けない場合に設定します)

* USB HDD機能待機：オン/オフ

...HDDが作動していないときの状態の設定を行います
 (オン:休止状態にしません)
 (オフ:HDDがしばらく作動していないときに休止状態にします)

※HDD機能待機をオフにすると、HDDの消費電力は低減しますが作動開始の準備にかかる時間が長くなります

※HDD機能待機をオン切り換えた場合、再生や録画の操作を行うとその設定が有効となります。

※HDDによってはHDD機能待機をオンに設定していても、HDD側の省エネ機能等により休止状態となる場合があります。

「録画」に関する機能の利用

視聴中の番組を録画する

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。

- ① テレビ番組を視聴中に、リモコンの【録画】ボタンを押す。
 - 録画が開始されます
 - 録画は、「機器設定」→「録画設定」→「録画ボタンの設定」の設定に従い、自動停止します
 - ※この操作による録画中に、「録画を予約した番組」が始まる場合、予約が優先されます
 - ※HDDの残量がなくなった場合、録画が自動的に停止します
- ② 録画を途中で止める場合...
 - 録画中にリモコンの【停止】ボタンを押す → ●確認画面で「はい」を選択して【決定】ボタンを押す

■ 録画モードについて...

- 録画モードは「標準」(放送波そのままの画質)となります。モードの変更はできません

■ 録画中の画面表示について...

- HDDに録画している番組の情報が表示されます
- 1) 録画中に【画面表示】ボタンを押す
- 2) 表示を消す場合、再度【画面表示】ボタンを押す



録画中の放送とチャンネル

■ 録画中にできる操作...

- リモコンの【再生】ボタンを押すと、録画リストを表示できます
- ※リストから録画データの再生ができます
- (ただし、録画中にデータ再生を行った場合、再生画像にノイズが出るなどの影響が出る場合があります)

番組表から録画を予約する

電子番組表 (EPG) を利用して録画の予約をする方法です。

■かんたん設定...

- ① リモコンの【番組表】ボタンを押して、画面に番組表を表示する
- ② 【方向】ボタンで録画したい番組を選択して、【録画】ボタンを押す
→ 選択した番組名の前に「予」という予約アイコンが表示され予約完了となります
- ※再度【録画】ボタンを押すと、予約が取り消されます

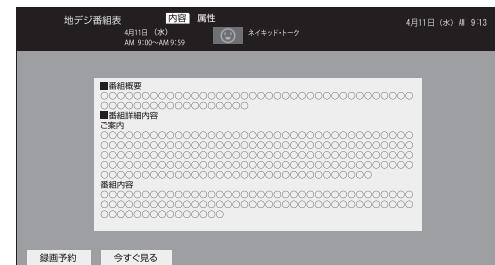
■ 基本設定...

- ① リモコンの【番組表】ボタンを押して、画面に番組表を表示する
- ② 【方向】ボタンで録画したい番組を選択して、【決定】ボタンを押す
(→番組内容画面に表示が切り換わる)
- ③ 「録画予約」を選択して【決定】ボタンを押す
- ④ 「録画設定予約」に切り換わるので好みの予約方法を選択して【決定】ボタンを押す
(→予約が完了しましたとメッセージが表示されます)

●「予約する」...その番組を1回のみ録画を予約します

- 「毎週予約する」...
その番組と「同じ曜日/時間帯」の録画を予約します

- 「自動録画する」...
放送日や放送時間が一定ではないシリーズ番組を、番組表データの放送CH・時間帯・番組名などから自動検索して、本機が自動的に毎回録画予約を設定します



(注)録画予約を設定した後に「主電源を切る」「電源プラグをコンセントから外す」と録画出来ません

「録画」に関する機能の利用

番組表から録画を予約する (つづき)

- 自動予約を一時的に解除する...
 - リモコンの【メニュー】ボタンから、「機器設定」→「録画設定」→「自動予約」→「オフ」の順に選択して【決定】する
※次回以降の放送は、予約されません
 - ※「自動予約」を「オン」にすると設定した内容での自動予約が再開されます

(注) 番組タイトルが極端に短い場合、設定できない場合があります

(注)「番組名が前回と大きく異なった/変更された」等の場合、次回の放送を検索できない場合があります

(注) 一つの「自動予約をする」からは、1日に1回だけ予約が設定されます

(同じ番組が一日に複数回放送された場合、重複はできません)

- 予約の詳細設定を変更する...
 - 「録画予約設定」→「詳細設定」→【決定】→「設定変更」→【決定】→「詳細設定」→【決定】の順に操作する
 - *予約方式...「視聴」または「録画」から選択
 - *録画機器...録画機器を選択
 - *その他の設定...「録画番組のプロテクト」の設定
(大切な録画番組を間違えて消去しないよう、プロテクト(保護)することができます)
 - *日時指定予約へ...「はい」を選択すると「時間指定予約」画面を表示
(すでに予約した番組を変更したい時は、「修正する」を選択します)

日時を指定して予約をする

- ①リモコンの【メニュー】ボタンから、
「タイマー設定」→「日時指定予約」の順に選択して【決定】を押す
*予約方法...「見るだけ」または「録画」から選択
*放送種別／チャンネル...録画する放送とチャンネルを選択
*曜日／日...予約したい曜日・日を設定
*[開始時刻]／[終了時刻]...予約の開始(終了)時刻を設定
*録画機器...録画機器を選択/設定

②各項目を選択/確認後、「予約する」を選択して【決定】を押す

時間指定予約	録画可能時間	120:46
予約方式	見るだけ	録画
放送種別／チャンネル	地デジ 021	
曜日／日	12月11日(金)	
開始時刻	12月11日(金)	PM2:48
終了時刻	—	
録画機器	USB HDD	
	その他の設定	
	予約せず戻る	
	予約する	

予約の確認/変更/削除

- 予約の確認...
 - ①リモコンの【サブメニュー】ボタンから、「予約一覧」→【決定】を押す
 - ②【青】ボタンを押して通常の「予約リスト」の一覧を表示する
または【赤】ボタンを押して「自動録画」で予約された次回以降の番組の一覧を表示する

- 予約の変更...
 - ①上記手順で予約の一覧を表示する
 - ②変更したい予約項目を選択して【決定】→「設定変更」を選択→【決定】の順に進める
 - ③画面表示を確認しながら設定を変更し、【▼(下)】ボタンを押す
 - ④「修正する」を選択して【決定】を押す(※変更内容で予約が確定します)

- 予約の削除...
 - ①上記手順で予約の一覧を表示する
 - ②削除したい予約を選択して【黄】ボタンを押す
 - ③「確認画面」で「はい」を選択して【決定】を押す

- 録画実行済みの履歴の削除...
 - ①上記手順で予約の一覧を表示する
 - ②「予約一覧」画面の表示中に【サブメニュー】を押す
 - ③「全履歴削除」を選択して【決定】を押す
 - ④「確認画面」で「はい」を選択して【決定】を押す

「録画」に関する機能の利用

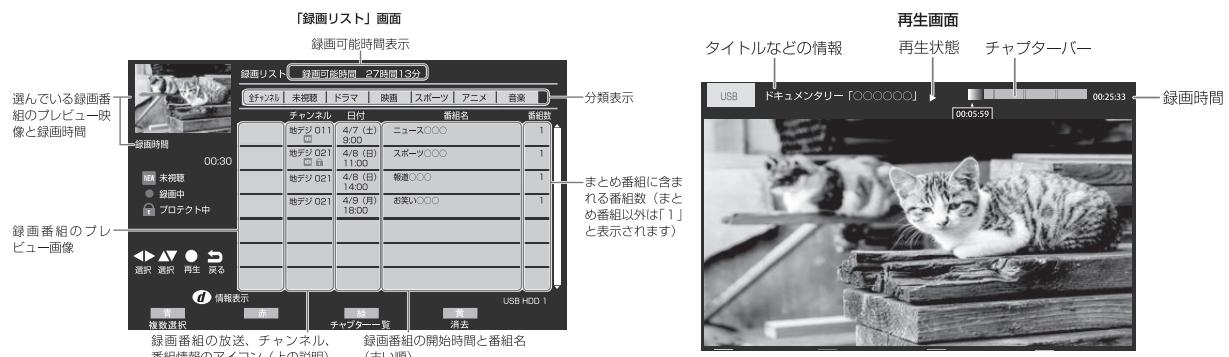
録画した番組を再生する

■データ再生の基本操作

- ①【録画リスト】ボタンを押す
- ②【◀/▶】で視聴する分類を選択
(分類:全チャンネル/未視聴/ドラマ/映画/スポーツ/アニメ/音楽)
- ③【▲/▼】視聴する番組を選択して【決定】を押す
●データ再生が開始されます
※前回視聴時に途中で再生停止した番組を選択した場合、
「続きから再生」または「最初から再生」を選択します
※データを最後まで再生すると、静止状態となり録画リストに戻ります
- ④再生を停止する場合、【停止】を押す

「録画リスト」面に表示される番組情報アイコン

アイコン	意味
	未視聴
●	録画中
	プロテクト（保護）中
	まとめ番組（再生のしかたは、



録画番組の再生中にできるリモコン操作

■【決定】【方向(◀/▶)】【カラー(青/赤/緑/黄)】ボタンの操作

- *【決定】...データの再生↔一時停止
- *【▶】...早送り※押すごとに速度が上がる(5段階)
- *【◀】...早戻し※押すごとに速度が下がる(5段階)
- *【青】...前のチャプターへ戻る
- *【赤】...次のチャプターへ進む
- *【緑】...画面下部にチャプターライフを表示
- *【黄】...A-B再生設定
(1度押す:開始点[A]を設定→2度押す:終了点[B]を設定)
(再度【黄】を押すとA-B再生が解除される)

■その他のボタンの操作

- *【再生】...データの再生
(再生中に3秒以上長押しすると音声付き早飛ばし再生↔再度押すと解除)
- *【一時停止】...データ再生の一時停止
- *【停止】...データ再生を停止して録画一覧へ戻る
- *【早送り】...早送り※押すごとに速度が上がる(5段階)
- *【早戻し】...早戻し※押すごとに速度が下がる(5段階)
- *【前へ】...前のチャプターへ戻る
- *【次へ】...次のチャプターへ進む
- *【30秒スキップ】...約30秒後に進む
- *【録画リスト】...録画一覧を表示する



メディアプレーヤー機能

本機にはメディアプレーヤーソフトが内蔵されています。使い方は以下をご参照ください。

- 別途必要な物：データが保存された外部メモリー（USBメモリーなど）

*標準規格：USB2.0 *容量：16GB～1TB *フォーマット形式：FAT32またはNTFS
*HDD（ハードディスク）の場合、電源供給型の物を推奨

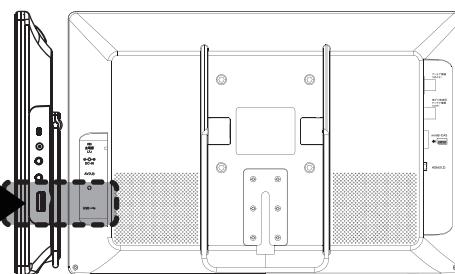
- 当ソフトで再生が可能なファイル形式

[動画] MP4

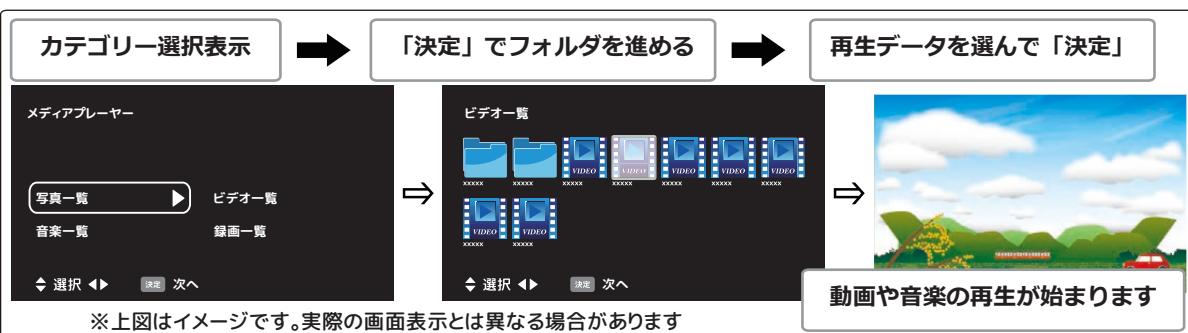
[画像] JPEG

[音楽] MP3

※上記形式ファイルでも保存サイズやコーデック形式によっては正しく再生されない場合があります



- ① 動画や音楽などのデータが保存された外部メモリーを本機側面にあるUSBポートに接続する
- ② リモコンの【サブメニュー】ボタン→「メディアプレーヤー」を選択→【決定】ボタンを押す
- ③ メディアプレーヤーソフトが表示されたら、
「写真一覧」「ビデオ一覧」「音楽一覧」「録画一覧」の各カテゴリーから視聴するものを選び【決定】を押す



(!重要) ディスクを録画用としてご使用される場合、本機で録画専用のフォーマットを行う為、
メディアプレーヤー用USBメモリーとしての共用/併用はできません。

- ① 動画や音楽などのデータが保存された外部メモリーを本機側面にあるUSBポートに接続する
- ② リモコンの【サブメニュー】ボタン→「メディアプレーヤー」を選択→【決定】ボタンを押す
- ③ メディアプレーヤーソフトが表示されたら、
「写真一覧」「ビデオ一覧」「音楽一覧」「録画一覧」の各カテゴリーから視聴するものを選び【決定】を押す

メディアプレーヤー機能

メディアプレーヤー利用時のリモコン操作

■【決定】【方向(◀/▶)】【カラー(青/赤)】ボタンの操作

- *【決定】...データの再生 ⇄ 一時停止
- *【▶】...早送り※押すごとに速度が上がる(5段階)
- *【◀】...早戻し※押すごとに速度が下がる(5段階)
- *【青】...現在のチャプターの頭に戻る
- *【赤】...次のチャプターの頭に移動
- *【緑】...画面下部にチャプター一覧を表示

■その他のボタンの操作

- *【再生】...データの再生
- *【一時停止】...データ再生の一時停止
- *【停止】...データ再生を停止して録画一覧へ戻る
- *【早送り】...早送り※押すごとに速度が上がる(5段階)
- *【早戻し】...早戻し※押すごとに速度が下がる(5段階)
- *【次へ】...次のチャプターの頭に移動
- *【前へ】...現在のチャプターの頭に戻る

(ヒント)

メディアプレーヤーでデータ再生中に上記以外のボタンを押すと、
メディアプレーヤー立ち上げ前のモード(テレビ視聴や外部入力など)に戻ります。



外部機器の接続/入力ソース切換

外部機器の接続

音声出力端子
Φ3.5mm / ステレオ

AV入力端子
※ RCA (赤 / 白 / 黄)

USB2.0ポート

(注) ◎印の端子は
DTV (テレビ) モード
用端子です。

miniB-CASカード
スロット (P.12)

HDMI入力端子

- 音声出力端子 : イヤホンや外付けスピーカーなどの機器との接続用端子
- AV入力端子 : AV接続ケーブル(付属品)を利用して外部機器と接続を行うための入力端子
- USB2.0ポート : 「番組録画用ディスク」「メディアプレーヤー機能の利用」等で使用するポート
- miniB-CASスロット : 地デジテレビ放送を視聴するために必要な「miniB-CAS」を設置するスロット
- HDMI端子 : HDMI接続ケーブル(市販品等)を利用して外部機器との接続を行うための端子

入力ソース切換 (モード切換)

- リモコンの【入力切換】ボタン、または本体の【機能切換】ボタンを押すごとにモードが切り換わります
※リモコンボタン操作時...「テレビ」→「HDMI」→「ビデオ」
※本体ボタン操作時...「地デジ」→「BS」→「CS」→「HDMI」→「ビデオ」

HDMI設定(連動操作など)

- 本製品のHDMI連動機能は、HDMIで規格化されている HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を利用し、接続した機器間での連動した操作が可能です。
- 本製品とHDMI連動機能対応のDVDレコーダーやパソコンなどの機器をHDMIケーブルで接続することで利用ができます。
- (注)・連動操作は本機と接続した外部機器側の設定や状態により機能しない/できない場合があります
 ・HDMI連動機能による機器の不具合・故障等について、当社は一切その責を負いません。
 また、当機能に関する無償保証/カスタマーサポートはありませんので予めご了承ください。

HDMI連動機器との接続／設定

- 全ての機器の主電源をオフにする → HDMIケーブル(市販品等)を利用して本機と外部機器を接続する
 → 外部機器側の電源をオンにする → 本機の主電源をオンにする
 ※ 機器に割り振られる番号が接続状態によって変化する場合があります。
 この場合、外部機器側の電源オンの状態で、本機の主電源をオフ→オンにすると本機側が更新されます。

(注) 連動操作は本機側の主電源がオンの状態でのみ機能します。主電源スイッチをオフにすると利用できません。

■HDMI連動設定

- 本製品のリモコンでのHDMI連動操作、外部機器側の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。
- リモコン【メニュー】ボタンで「設定メニュー」を表示する → 「機器設定」を選択して【決定】ボタンを押す
 → 「HDMI設定」を選択して【決定】ボタンを押す
 → 「HDMI連動操作の項目をお好みに合わせて設定してから【決定】ボタンを押す

HDMI 設定	
HDMI 連動	オン
電源入連動	オフ
電源切連動	オン
自動切	オフ
レコーダ操作	通常

- * HDMI連動(オン／オフ)...連動操作のオン／オフを設定
- * 電源入連動...連動機器側を操作した時に本機の電源をオンにする機能
- * 電源切連動...本機側の電源をオフ(待機状態)にした時、連動機器側の電源もオフ(待機)にする機能
 (※外部機器側が録画中の時など、動作状態によりオフにならない場合があります)
- * 自動切...使用していない連動機器の電源を個別にオフ(待機状態)にする機能
 (※主に連動機能付きレコーダーなどに対応。その他の機器では非対応の場合があります)
- * レコーダ操作(通常／拡大)...外部機器の操作範囲の選択

HDMI機器設定

■HDMI機器側の機器の設定やスピーカーの選択等を行います

- リモコン【サブメニュー】ボタンを押す → 「HDMI機器設定」を選択して【決定】ボタンを押す
 → 画面の表示を確認の上、設定してから【決定】ボタンを押す
- * HDMI機器選択...外部機器側を選択して設定
- * スピーカー選択...本機側のスピーカーを利用するか外部機器側のスピーカーを利用するかを選択

設定メニュー

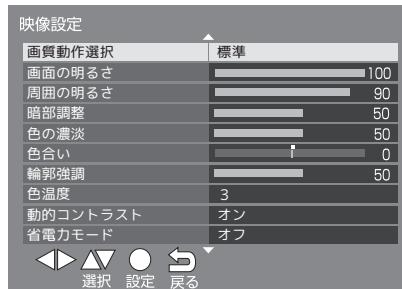


■ リモコンの【メニュー】ボタンを押すと「設定メニュー」が表示されます。
「映像設定」「タイマー設定」「機器設定」「機器情報」の各項目の設定をお好みに合わせた調整いただけます。

映像設定

(設定メニュー)

■ 「設定メニュー」で「映像設定」を選択して【決定】を押すと、映像設定メニューが表示されます。



● 画質動作選択

- ①「画質動作選択」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「鮮やか」「標準」「居間」「映画」「映画プロ」「任意設定」からお好みに合わせて選択してから【決定】を押す

● 周囲の明るさ

- ①「周囲の明るさ」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「0~100」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 色の濃淡

- ①「色の濃淡」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「0~100」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 輪郭強調(鮮明度合いの調整)

- ①「輪郭強調」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「0~100」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 動的コントラスト(周囲の明るさとの自動調整機能)

- ①「動的コントラスト」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「オン/オフ」を選択して【決定】を押す

● 省電力モード

- ①「省電力モード」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「オフ」状態で【▲】を押してから【決定】を押すと「明るさ制限設定」
- ③「明るさ制限設定」状態で【▲】を押すと「音声モード(画面オフ)」
- ④「音声モード」状態でいずれかのボタンを押すと「オフ」

● 画面の明るさ(LEDバックライト調整)

- ①「画面の明るさ」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「0~100」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 暗部調整(映像暗部(黒色)の調整)

- ①「暗部調整」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「0~100」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 色あい

- ①「色あい」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「-50(強紫)~+50(強緑)」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

● 色温度

- ①「色温度」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「5(寒色系)~1(暖色系)」の範囲でお好みに合わせて調整してから【決定】を押す

映像設定

(設定メニュー)

● ノイズ低減

- ①「ノイズ低減」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「自動」「強」「中」「弱」「オフ」から
好みに合わせて選択してから【決定】を押す
*自動...映像の種類によって自動的に制御
*強/中/弱...ノイズ低減の効果を手動で切換え
*オフ...機能オフ
※通常時は「自動」または「弱」を設定してください
(強くかけると残像が目立つ場合があります)

● 高度な設定

- ①「高度な設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「入/切」を選択して【決定】を押す
※高度な設定は、「画質動作選択」を「鮮やか」「映画プロ」以外に設定した場合、この項の調整が可能です
※「入」を選択すると「詳細調整」が白文字で表示されて操作が可能になります

● 詳細調整(中間より暗い部分の階調変化を調整)

- ①「高度な設定」を「入」にする
- ②「詳細調整」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「黒伸長」「ホワイトバランス」「ガンマ設定」を
好みに合わせて調整してから【決定】を押す
*黒伸長...中間より暗い部分の階調変化を調整(0~15)
*ホワイトバランス...赤、緑、青の信号のホワイトバランスを調整
*ガンマ設定...映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整(2.6/2.4/2.2/2.0/1.8)
※ガンマ値は小さいほど中間輝度が明るくなります



● シネマ設定(毎秒24コマで撮影された映画の映像の再現)※1080i／480i信号の時に設定可

- ①「シネマ設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「オン/オフ」を選択して【決定】を押す ※映像が不自然な場合はこの機能を「オフ」に設定してください

● 画面の設定(画面の表示サイズなどの調整)

- ①「画面の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「画面サイズ切替」「オーバースキャン」「両横ノイズカット」「垂直位置/大きさ」「4:3映像設定」から
調整する項目を選択してから【決定】を押す

*画面サイズ切替...
※右図参照

画面サイズのモード	画面の見えかた	説明
自動	—	放送や入力信号に応じて、最適な画面サイズに自動で切り換える
フル		DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦伸び映像)をワイド映像として拡大表示するモード
ジャスト		4:3映像をワイド画面に拡大表示するモード 画面左右の端にいくほど、映像が引き伸ばされる
ノーマル		4:3映像をそのままの比率で表示するモード
ズーム		上下が黒帯で表示される映画などのワイド映像(レターボックスLB)を拡大して表示するモード
サイドカットフル		左右に帯(黒や模様等)のある16:9映像をワイド画面で表示するモード 映像が左右に引き伸ばされる
サイドカットジャスト		左右に帯(黒や模様等)のある16:9映像をワイド画面で表示するモード 画面左右の端にいくほど、映像が引き伸ばされる
サイドカットズーム		上下左右に帯(帯も映像データとして送信されている)のある16:9の 映像をワイド画面に拡大表示するモード

映像設定

(設定メニュー)

● 画面の設定 (つづき)

*オーバースキャン...16:9映像の時の表示方法

(オン:映像を少し大きめに表示) (オフ:画面内に収まるように表示)

*両横ノイズカット...両端にノイズ状のものが見える場合、画面の幅を変更

(標準:画面内に収まるように表示) (小:映像を少し伸ばして表示)

*4:3映像設定...画面サイズのモードが「自動」の場合の4:3映像の表示方法を設定

(ノーマル) (ジャスト)

※映像信号が1080p, 1080i, 720pの場合、動作しない場合があります

● 調整の初期化(工場出荷時設定にリセット)

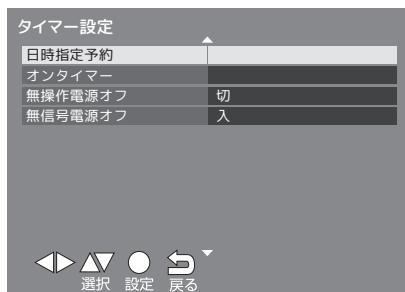
①「調整の初期化」を選択して【決定】ボタンを押す

②「はい」を選択して【決定】ボタンを押す

タイマー設定

(設定メニュー)

■「設定メニュー」から「タイマー設定」を選択して【決定】を押すと、タイマー設定メニューが表示されます。



● 日時指定予約 (番組の視聴や録画を、日時指定して予約する) ※P.29「日時を指定して予約する」参照

①「日時指定予約」を選択して【決定】ボタンを押す

②「予約方法」「放送種別」「曜日/日」「時刻」その他の表示項目を確認しながら設定を入力する

③「予約する」選択してから【決定】を押す

● オンタイマー (指定時刻に設定を掛けた状態で本機を起動するタイマー)

①「オンタイマー」を選択して【決定】ボタンを押す

②「オンタイマー」が「切」の状態で、「時刻」「放送/入力」「チャンネル(チャンネル名)」を入力

③「オンタイマー」を「入」に切り換えてから【決定】を押す

● 無操作電源オフ (HDMIやビデオモードなどで、しばらく操作をしていない状態の時に電源を切る機能)

①「無操作電源オフ」を選択して【決定】ボタンを押す

②「入/切」を選択して【決定】を押す (入:無操作時の時に電源を切る)(切:機能オフ)

● 無信号電源オフ (HDMIやビデオモードなどで、しばらく操作をしていない状態の時に電源を切る機能)

①「無操作電源オフ」を選択して【決定】ボタンを押す

②「入/切」を選択して【決定】を押す (入:無信号の時に電源を切る)(切:機能オフ)

機器設定

(設定メニュー)

- 「設定メニュー」で「機器設定」を選択して【決定】を押すと、機器設定メニューが表示されます。



- USB機器管理 : USB機器一覧へ ※詳細はP.26「ディスクの準備」参照
- 録画設定 : ※詳細はP.27「録画設定」参照
- 視聴制限設定 : 暗証番号を設定します
暗証番号を設定した場合、「視聴年齢制限のある番組の視聴」や「設定情報のリセット」等に必要となります。暗証番号を設定した場合、必ずメモを取り、大切に保管してください

(!) 暗証番号を忘れた場合、無償保証の対象外となります。ご注意ください。
※ 特に不要な場合は「暗証番号は登録しない」ことをお勧めいたします。

*暗証番号を設定する...

- ①「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ② 登録する暗証番号 4桁 を【数字】ボタンで入力
※入力ミスした場合、【戻る】を押してから再入力
- ※入力した数字は、画面上に「*」で表示



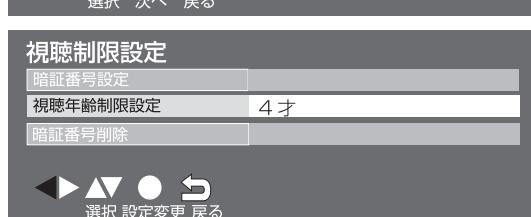
*暗証番号を変更する...

- ①「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ② 登録する暗証番号 4桁 を【数字】ボタンで入力
- ③「暗証番号設定」に【数字】ボタンで新しい番号を入力
- ④ 確認画面に従い、再度新しい番号を入力



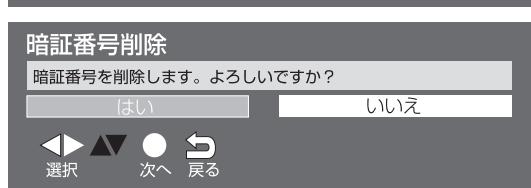
*視聴年齢制限を設定する...

- ①「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ② 登録する暗証番号 4桁 を【数字】ボタンで入力
- ③「視聴年齢制限設定」で制限する年齢を選択する
(4才～19才・無制限)
- ④【決定】ボタンを押す



*暗証番号を削除する...

- ①「視聴制限設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ② 登録する暗証番号 4桁 を【数字】ボタンで入力
- ③「暗証番号削除」を選択し【決定】ボタンを押す
- ④ 確認画面で「はい」を選択し【決定】ボタンを押す



機器設定

(設定メニュー)

- 表示の設定 : 「字幕」や「外部入力機器」などの表示を設定します

*字幕を設定する...

- ①「表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「字幕の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「字幕」「文字スーパー」の言語やオン/オフをお好みに合わせて選択してから【決定】を押す



*外部入力の機器表示を設定する...

- ①「表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「入力表示」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「HDMI端子」「ビデオ(AV)端子」に接続した外部機器に合わせて各項目を選択してから【決定】を押す

*タイトル表示（チャンネルを切り換えた時の番組タイトル表示のオン/オフ設定）...

- ①「表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「タイトル表示」を選択して【決定】→「オン/オフ」をお好みに合わせて選択してから【決定】を押す

*時計表示（チャンネルを切り換えた時の現在時刻表示のオン/オフ設定）...

- ①「表示の設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「時計表示」を選択して【決定】→「オン/オフ」をお好みに合わせて選択してから【決定】を押す

-
- HDMI設定 : ※詳細はP.33「HDMI設定（連動操作など）」参照
-

- かんたん設定 : 「引越し」や「アンテナの不具合」などで地デジ放送が映らなくなった場合、この項から再度、かんたん設定を行うことができます。 ※詳細P.16「初期設定（かんたん設置設定）」参照
-

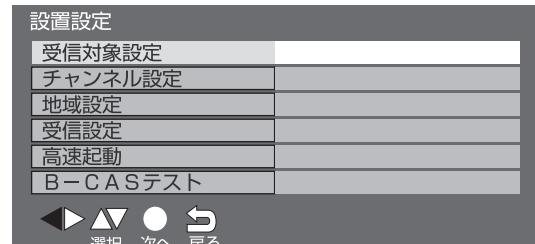
● 設置設定

*受信対象設定...

(BS/CS利用時の衛星放送用アンテナへの電源供給の設定)

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「受信対象設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「BS」「CS」放送受信の際、それぞれアンテナへ電源供給を行うかどうかを設定し、【決定】ボタンを押す

※「使う」を選択すると電源供給を行う／「使わない」を選択すると本機からアンテナへ電源供給されない

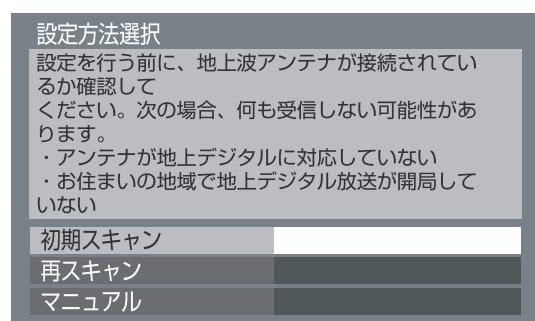


*チャンネル設定...

(地デジ受信局のスキャン登録やリモコンの割当変更設定)

■ 地デジ放送のスキャン登録/再登録

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「チャンネル設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「地上デジタル」を選択して【決定】ボタンを押す
- ④「初期スキャン」「再スキャン」「マニュアル」から選択して【決定】ボタンを押す



※「初期スキャン」...「かんたん設定」で行える「初期スキャン」を行う

※「再スキャン」...「新たな放送局が追加された場合」など地域の放送帯に変更があった場合に利用

※「マニュアル」...手動（マニュアル）で【数字】ボタンの選局CHの割り当て変更を行う場合などに利用

機器設定

(設定メニュー)

● 設置設定(つづき)

*チャンネル設定(地デジ/BS/CS)…

■地デジ放送のチャンネルは放送局のスキャン登録後にリモコン番号に割り当てられます。
BS/CS放送のチャンネルは、お買い上げ初期時に設定されています。リモコンボタンの割り当てを変更する時、下記操作を行います。

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「チャンネル設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③リモコンの割当を行う受信波を選択して【決定】ボタンを押す
(地デジの場合は「マニュアル」を選択)
- ④「〇〇 チャンネル設定」を表示して、変更したいチャンネルのCH番号を変更する
- ⑤選定内容を確認の上、【決定】ボタンを押す

※チャンネル設定上の「行」を入れ換える場合…

・「〇〇 チャンネル設定」を表示中に【緑】ボタンを押す → 画面上の指示を確認しながら「行」を入れ替える

*地域設定…(かんたん設定等で設定した状態から変更する場合、下記操作を行います)

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「地域設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「県域設定」「郵便番号」に変更する情報を入力する
(※伊豆/小笠原諸島地域の場合、「東京都島部」を選択 / ※南西諸島地域の場合、「鹿児島県島部」を選択)
- ④入力した情報を確認の上、【決定】ボタンを押す

*受信設定…

(各放送の受信アンテナに関する設定や確認を行います)

■地デジ放送用アンテナの確認…

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「地上」を選択して【決定】ボタンを押す
- ④「アッテネーター」「物理チャンネル」で
必要に応じて設定を変更して【決定】ボタンを押す

(!)アッテネーターとは?

地上デジ放送は受信強度が強すぎてもその受像化ができなくなる場合があります。

アッテネーターは、TVチューナーの受信波を減衰させる場合に利用します。

受信良好のレベルに十分達している状態で画面にブロックノイズなどが入る場合、この機能を利用することで改善される場合があります。(※通常時は「オフ」に設定してください)



■衛星放送(BS/CS)用アンテナへの電源供給の確認…

- ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ②「受信設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「衛星」を選択して【決定】ボタンを押す
- ④「アンテナ電源」を選択して必要に応じて
オン/オフ設定を変更して【決定】ボタンを押す



※「トランスポンダ」「衛星周波数」は変更すると視聴ができなくなる場合がありますので、放送局などからの案内がない限り、変更しないでください。

(!)地デジ・衛星放送受信レベルの目安(!)

地デジ放送・衛星放送の各局ともに、その受信レベルを最低50以上になるようアンテナの調整を行ってください。
(アンテナの調整は高所での作業になる場合もあり、大変危険ですので、専門業者や販売店にご相談ください)

機器設定

(設定メニュー)

● 設置設定 (つづき)

*B-CASカードの確認...

- (注)この操作は本機にB-CASカードを設置してから、
3秒以上経過した後に操作を行うこと
 ①「設置設定」を選択して【決定】ボタンを押す
 ②「B-CASテスト」を選択して【決定】ボタンを押す
 ③右図《1》が表示されることを確認する
 ※右図《2》が表示された場合、カードが正しく認識
されていません。
 本書P.12「B-CASカードの準備」をご確認の上、
正しくカードを設置してください。

《図 1》

B-CASカードテスト

テストが正しく終了しました。
デジタル放送やデータ放送を利用することができます。



《図 2》

B-CASカードテスト

B-CASカードが正しく挿入されていません。
カードの表や裏、挿入方向が正しいか、
カードが止まるまで押し込まれているかを
もう一度確認してください。



● システム設定

*設定情報リセット...

- (システムをお買い上げ時の設定に初期化します)
 ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す
 ②「設定情報リセット」を選択して【決定】ボタンを押す
 ③リセットについての確認が表示されるのでよく読み、
実行する場合は「はい」を選択して【決定】を押す

システム設定

設定情報リセット

放送メール	
B-CAS情報	
CSボード	
放送ダウンロード	自動
ライセンス情報	
ルート証明書	

(注)リセットされると「かんたん設置設定」が表示されます。この表示が出るまで本体の主電源は
切らないでください。(システムが破損して使用不可となる恐れがあります)

*放送メールの確認...

- ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「放送メール」を選択して【決定】ボタンを押す
 ③確認する放送メールを選択して【決定】ボタンを押す

*B-CAS情報の確認...

- ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「B-CAS情報」を選択して【決定】ボタンを押す

*CSボードの確認...

- ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「CSボード」を選択して【決定】ボタンを押す
 ③「CS1」or「CS2」を選択して【決定】ボタンを押す → ④確認する情報を選択して【決定】ボタンを押す

*ライセンス情報の確認...

- ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「ライセンス情報」を選択して【決定】ボタンを押す

*ルート証明書の確認...

- ①「システム設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「ルート証明書」を選択して【決定】ボタンを押す

(!)ルート証明書とは?

地デジ放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証を行う際に使用される証明書です。
 サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するもので、この証明書を元にして、デジタル署名を検証し、「サーバー証明書」が信頼できることを確認します。

機器設定

(設定メニュー)

● その他の設定

*文字入力設定...

■文字の入力方式の切り換え

- ①「その他の設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「入力方法」を「画面キーボード」または「リモコンボタン」から選択して【決定】を押す

その他の設定

文字入力設定

選局対象 全チャンネル

■文字の変換方式の切り換え

- ①「その他の設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「文字入力設定」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「変換方式」を選択して【決定】を押す → ④「通常方式」または「予測方式」から選択して【決定】を押す

*選局対象...

■【CH▲(+)/▼(-)】ボタンで選局する時に、選べる対象を設定します

- ①「その他の設定」を選択して【決定】ボタンを押す → ②「選局対象」を選択して【決定】ボタンを押す
- ③「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選択して【決定】を押す

※「設定チャンネル」...「リモコン番号に割り振られたCH」と「チャンネル設定で設定されたCH」が対象

※「テレビのみ」...「テレビ放送(映像+音声)」のチャンネルのみが対象

※「全チャンネル」...放送中のすべてのチャンネルが対象

文字の入力操作

■ 文字の入力方法は「画面キーボード方式」と「リモコンボタン方式」の2種類があります。

「USB機器管理」設定の際に表示名の変更を行う時などに使用します。

● 入力方法の切り換え

- ①「設定メニュー」→「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」→「入力方法」の順に進む
- ②「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選択してから【決定】を押す

● 画面キーボード方式



・ 文字入力の時に「画面キーボード」を設定すると、上図のキーボードが表示されます

*【決定】...決定/実行 *【方向】...カーソル移動など *【緑】...「文字切換」(かな・カナ・英数)

*【赤】...キーボードを消す/確定 *【青】...漢字変換

※ 変換方式が「予測方式」の場合...

【方向】ボタンで文字を選択すると「予測変換」欄に候補を表示

※ 行間に文字を追加する場合...

キーボード上の「入力位置移動」を選択して【決定】ボタンを押す

※ 文字を削除する場合...

キーボード上の「入力位置移動」を選択して【決定】ボタンを押す

→ 削除したい文字に【方向】ボタンでカーソルを移動させ、【黄】ボタンを押す



機器設定

(設定メニュー)

文字の入力操作(つづき)

● リモコンボタン方式

- ・携帯電話などで使われている【数字】ボタンを利用した入力方式です

入力文字一覧

(かな) あ → い → う → え → お → あ → い → う → え → お → 1 (カナ) ア → イ → ウ → エ → オ → ア → イ → ウ → エ → オ → 1 (英数) @ → , → / → ; → ~ → _ → # → \$ → % → * → + → = → ^ → ` → 1	(かな) か → き → く → け → こ → 2 (カナ) カ → キ → ク → ケ → コ → 2 (英数) a → b → c → A → B → C → 2
(かな) さ → し → す → せ → そ → 3 (カナ) サ → シ → ス → セ → ソ → 3 (英数) d → e → f → D → E → F → 3	(かな) た → ち → つ → て → と → っ → 4 (カナ) タ → チ → ツ → テ → ド → ッ → 4 (英数) g → h → i → G → H → I → 4
(かな) な → に → ん → ね → の → 5 (カナ) ナ → ニ → ヌ → ネ → ノ → 5 (英数) j → k → l → J → K → L → 5	(かな) は → ひ → ふ → へ → ほ → 6 (カナ) ハ → ヒ → フ → ヘ → ホ → 6 (英数) m → n → o → M → N → O → 6
(かな) ま → み → む → め → も → 7 (カナ) マ → ミ → ム → メ → モ → 7 (英数) p → q → r → s → P → Q → R → S → 7	(かな) ゃ → ゅ → ょ → ゃ → ゅ → ょ → 8 (カナ) ャ → ュ → ョ → ャ → ュ → ョ → 8 (英数) t → u → v → T → U → V → 8
(かな) ら → り → る → れ → ろ → 9 (カナ) ラ → リ → ル → レ → ロ → 9 (英数) w → x → y → z → W → X → Y → Z → 9	(かな/カナ) 、。→ ? → ! → · → (→) → 〇 (カナ) → → ; → ' → " → ? → ! → & → ¥ → → (→) → < → > → [→] → { → } → 〇
(かな) わ → を → ん → わ → → ん → 8 (カナ) ワ → ヲ → ヌ → ワ → → ん → 8 (英数) ん → 8	(12) (かな/カナ/英数) 入力を1文字ずつ戻す

※ 文字に続けて【10/0】ボタンを押すと濁点・半濁点を入力

※ 同じ【数字】に割り当てられた文字を続けて入力する場合、【▶】ボタンを押す

入力例：がっこう

2 10/0 4(6回) 2(5回) 1(3回)
 が つ こ う

入力例：あい → 1 ▶ 1 (2回)

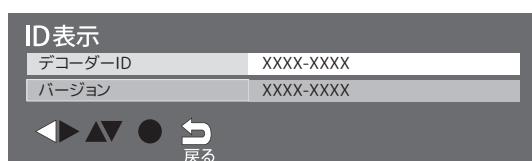
あ い

機器情報

(設定メニュー)

■「設定メニュー」で「機器情報」を選択して【決定】を押すと、本機のソフトウェアバージョン等を表示します。

* リモコンの【メニュー】ボタンを押して「設定メニュー」を表示 → 「機器情報」を選択して【決定】ボタンを押す
 → 「ID表示」で【決定】ボタンを押す → 本機の「デコーダーID」および「バージョン」が表示されます



トラブルシューティング

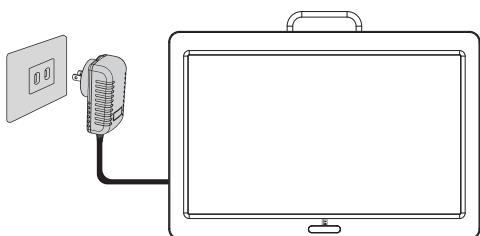
... 故障かな?と思ったら

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

■ 「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合

〈電源 (P.15)〉〈アンテナ (P.13)〉をご確認ください。

- ・「コンセント」「電源アダプター」「本体」はそれぞれ正しく接続されていますか？
- ・「コード部分や各接続箇所（端子部分）の断線・破損・汚れ」等はありませんか？



- ・「アンテナ」は正しく接続されていますか？
- ・「コード部分や各接続箇所（端子部分）の断線・破損・汚れ」等はありませんか？
- ・「アンテナ」は正しく放送波を受信できていますか？また受信レベルが不足していませんか？

■ このような場合は故障ではありません

※キャビネットなどから「ピシッ」というような軋み音がする場合があります。これは設置場所の温度変化によりキャビネットの伸縮が起きた時に発生する音です。液晶画面部分やスピーカーの出音等に異常がなければ機器のご利用にあたり問題はありません。

※本機電源が待機（スリープ）状態の時、機器内部から「カチッ」という音がする場合があります。これは番組情報取得などを行う際に機器内部が動作した時で発生する音です。

内部部品製造時における構造上の仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

※液晶パネルにはごくわずかな画素欠けや常時点灯画素がある場合があります。

これは液晶パネル製造時の特性における仕様につき故障ではありませんのでご了承ください。

■ よくあるお問合せ ■

テレビ番組のご視聴（受信）について

「特定のチャンネルが視聴できないのは故障ですか？」などのお問合せをいただくことがあります。テレビ番組をご視聴いただくには下記①／②の条件が整うことが必須条件です。

条件①：「本機に繋ぐアンテナが電波（信号）を正しく受信できる場所に設置してある」

条件②：「本機に繋いだアンテナが電波を正しく伝送しつづける」

ご準備いただいたアンテナ (P.13) と接続し、本機に放送局の登録 (P.16) を行った際に、1局でも放送局が登録された場合、本機側（チューナーや主要基盤等）には故障はありません。

アンテナ側が原因があるので、以下のご確認をお願いいたします。

確認①：「アンテナの設置場所・方向がその地域に見合った位置であるかどうか」

確認②：「アンテナの電波受信力が不足（または過多）ではないか」

（この場合、ブースターや減衰器が必要になる場合があります）

※アンテナの調整や共同アンテナについてはアンテナ側メーカー・アンテナ設置業者・共聴システム管理者等にお問合せください。（アンテナに関するサポートは行っておりません）

※付属品の簡易アンテナは受信力が強い物ではありません。

「付属のアンテナで視聴できない」場合、受信力の強く安定するアンテナをご利用ください。

トラブルシューティング

... 故障かな?と思ったら

◎故障かな?と思ったら、サポートセンターへお問合せの前に以下を再度ご確認ください。

Q&A（電源／リモコン）

・電源が入らない ・急に電源が落ちた	・付属品リモコンでは本体主電源のオン・オフは操作できません。 →主電源スイッチの確認（P.8 / P.15） ・電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.15） ・オフタイマーの設定をご確認ください。（P.36）
・リモコンが効かない	・リモコンの電池を交換してください。（P.10） ・本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（P.10） (注) リモコンと本体の間に障害物があると操作が効きません。

Q&A（視聴・再生）

・映像も音声も出ない	・アンテナが外れていませんか？ →アンテナの確認（P.13） ・入力ソースをご確認ください。 →モード切換（P.32） ・電源（コンセント）・アダプター・機器の各接続部分が正確に取り付けられているかご確認ください。（P.15）
・音声が出ない	・消音状態になっていませんか？ ・イヤホン端子に機器が接続されていませんか？ ・外部機器と正しく接続されていますか？
・映像にノイズが出る ・画面に斑点や線 ・音声に異音が混ざる ・音声が乱れる ... など	・アンテナの設置場所や方向をご確認ください。（P.13） ・「高圧線」「ネオン」「他の電子機器」などから電波（磁気）干渉が起きている可能性があります。本機を電波（磁気）の影響が低い場所に移動してご利用ください。
・縦線状の妨害が出て見えない	・アンテナまたはアンテナ端子部分への妨害電波やノイズの影響が考えられます。この場合アンテナの高さや方向を調整するある程度抑えることが出来ます。アンテナ・接続ケーブル・端子部分をご確認ください。 ・アンテナ接続ケーブルやその端子部分が外部機器やその他電子機器と近接している場合、設置場所を移動してください。

トラブルシューティング

... 故障かな?と思ったら

Q&A (視聴・再生)

・フルセグサービスで番組視聴ができない ・衛星放送の番組が視聴ができない	・B-CAS カードをご確認ください。(P.12) ・アンテナの設置場所や方向をご確認ください。(P.13) ・アンテナが正しく本機に取付けられているかご確認ください。 ※本機側に同じ形状のアンテナ端子が2つあります。地デジ用と衛星用を間違えないようにご注意ください。(P.13)
・色が薄く見える ... など	・映像設定をご確認ください。(P.34) ・外部機器との接続をご確認ください (P.32) ・旧アナログ放送時の再放送番組をご視聴される場合、その画像は著しく悪く見えることがあります。
・設置場所を移動したら視聴できなくなった(引越しなど)	・本機の設置場所を他の地域に移動させた場合、改めてその地域で視聴（受信）可能な放送局（CH）の登録が必要です。(P.16／P.38)
・番組視聴中に「映像」「文字情報」「番組内の時刻表示」がズレる	・デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため電波の受信から映像化されるまでの時差により数秒程度ズレて表示する場合があります。

Q&A (録画・外部メディア)

・番組の録画ができない	・録画に関する機能の利用には別途市販品等のデータ記録用ディスクが必要です。(P.25) ※ディスクのフォーマット仕様・空き容量などにご注意ください。 ・本体側の USB 接続ポートをご確認ください。 ・録画用ディスクとしてフォーマットされているかご確認ください。(P.26)
・メディアプレーヤー	・メディアプレーヤーの利用には別途データが保存されたメモリーが必要です。(P.31) ※メモリーのフォーマット仕様・空き容量などにご注意ください。 ・入力ソースをご確認ください。 → モード切換(P.32) ・本体側の USB 接続ポートをご確認ください。 ・メディアに保存されたデータ形式をご確認ください。(P.31)

その他の症状が起きた場合 ...

- ・その他症状が起きた場合、本体システムの初期化(リセット)を行ってください。
(機器設定メニューから初期化 : P.40)

製品仕様

本体仕様

本体サイズ	約)336x225x33.5mm
本体重量	約)810g
電源	[アダプター] AC100~240V 50/60Hz [本体] DC12V 3.0A
消費電力	24W(待機時：約 0.5W)
推奨動作条件	周辺温度：0~40°C / 相対湿度：20~80% ※結露なきこと
液晶	14インチTFT(TN) / LEDバックライト / 1366*768RGB
スピーカー	2W×2
出入力端子	電源入力・アンテナ入力(UHF)・アンテナ入力(BS,CS)・HDMI入力 イヤホン出力・AV入力(RCA)・USBポート・miniB-CASスロット

地デジ / BS / CS

受信チャンネル	地上デジタル：UHF 13ch~62ch(受信周波数：470~770MHz) BSデジタル：トランスポンダ BS1~BS23 110°CSデジタル：トランスポンダ ND2~ND24(12ch)
電子番組表	8日
※BS/CSは右旋円偏波のみ((4K/8K)は非対応)	※CATV(共同アンテナ/ネット回線)伝送の場合「同一周波数パススルーワイド」に対応(地デジ/BS,CS)

メディアプレーヤーソフト

対応ファイル形式	[動画] MP4 [音楽] MP3 [画像] JPEG
----------	-----------------------------------

※保存サイズやコーデック形式によっては再生できない場合があります

*電子番組表(EPG:約8日分) / 字幕放送 / 音声多重放送は対応しております。

*CATV(ケーブルテレビ)などからの各放送波の伝送の場合、同一周波数による伝送のみ対応です。

*衛星放送(BS/CS)は右旋円偏波のみ対応しております。

左旋円偏波の放送(4K/8K)の受信やご視聴はできませんので予めご了承ください。

*付属品のリモコン用電池は動作確認用のものです。早めに新しい電池と交換してください。

※製品の改善や品質向上のため予告なく変更となる場合があります。

その他（各種注釈や免責など）

デジタル放送のコピー制御について

- デジタル放送（地デジ/BS/CS）の伝送データのコピー制御にはB-CASの機能が利用されています。本機を利用してデジタル放送をご視聴される際は、必ず付属の miniB-CAS カードを設置してください。設置せずに本機をご利用された場合、伝送データが受像化されず、各番組をご視聴いただけません。（参照：P.12/B-CASカードの準備）

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送番組をご観覧でき、また高画質のまま録画できることが特徴のひとつです。但し、著作権への配慮が必要な為、各放送局では伝送データにコピー制御信号を加えて送信しています。この制御により著作権を保護しながら番組の制作や放送できるように取り組んでいます。

（コピー制御信号の実際の運用は個々の放送局により判断の上、運用されています）

液晶パネルについて

- 液晶パネルは高精度の技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素がありますが、故障ではありませんので予めご了承ください。

機器の温度・設置環境の温度

- 本機を長時間使用した時、液晶パネルや外装に熱を持つ場合があります。熱く感じる場合もありますが故障ではありません。
- 液晶パネルの特性により、設置環境の温度が低い場合、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがあります。故障ではありません。常温に戻ると回復します。

機器の輸送について

- 本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点などの恐れがありますので横倒しでの輸送は行わないでください。

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合はお住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。
(注) 自治体により「燃えないゴミ」「資源ゴミ」「粗大ゴミ」「小型電気製品回収」など取り扱い方法が異なりますのでご注意ください

その他（各種注釈や免責など）

免責について

- お客様（又は第三者）が本製品の使用によって生じた損害等について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
(誤使用により生じた故障・使用中の故障・その他の不具合事象等含む)
- 当社が関与しない機器（他メーカー機器やデータやソフト等）などとの組み合わせによる誤作動や故障やその他不具合などによって生じた損害等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。
- 取扱説明書（本書）の記載事項を守らないことにより生じた損害や事故等について、当社では一切その責を負いませんので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証書(別添)について

- 本品付属品として製品保証書が同梱されています。お買い上げ販売店にて「お買い上げ日」「販売店情報」を正確にご記入いただき、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
(重要)「販売店情報」「お買い上げ日」欄は販売店が記入することで無償保証が有効となります。
「お買い上げいただいたお客様自身で記入した...」などの場合、無償保証サービスの対象外となります。

製品の「検品」や「修理」などをご依頼される場合

- 本書をお手元にご用意の上、当社お客様サポートセンターまで
「電話」「FAX」「E-MAIL」「当社ホームページ問合せフォーム」にてお問合せください。
お問合せ内容を確認の上、その内容に適したサポートをご案内させていただきます。

お客様サポートセンター

03-5670-0328

（電話受付時間：【平日】10:00～12:30 / 13:30～17:00）

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F
株式会社AKART. (アカート) サポートセンター
FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL : support@akart.jp

(注) 休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービス／保証規定

保証規定

■ 保証書（別添）に記載された「保証期間」において製品（本体）の故障や不具合が発生した場合、当社保証規定に準じて無料で修理等を行うことをお約束いたします。保証期間内に修理等をご依頼いただく場合、無料保証の対象であるかをご確認の上、「お客様サポートセンター（P.48）」までお問合せください。

- (1) 無料保証を受ける場合、「必要な情報が正しく記入された保証書（別添）」または「保証書に準ずる書類（購入店舗や日時を証する書類など）」をお手元にご用意の上、当社サポートセンターまでお問合せください。
(注) 当社サポートセンターにおいて「店舗名やご購入日時が確認できない」場合、無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- (2) 無料保証の対象は製品本体のみです。付属品（消耗品）は保証対象外です。
- (3) 下記のような場合、保証期間内であっても原則として有料対応となります。
 - 保証書（又は準ずる書類）のご提示が無い場合
 - 保証書に必要な情報が記入されていない場合
あるいは字句が書き換えられている場合
 - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷
 - ほこり、昆虫類等の侵入、火災、天変地異（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧などで生じた故障、損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用途など）で使用された場合の故障、損傷
 - 本製品以外を起因とする不具合や故障、損傷
 - ご使用に伴う摩耗や色あせなどの外観上の変形や不具合
 - 消耗品および付属品類の交換（修理）費用
 - 離島または離島に準ずる遠隔地への輸送費用
- (4) 当規定による保証は日本国内においてのみ有効です。（Warranty valid only Japan）

■ 修理等の対応サービスについて

- ※ 出張による修理や設置などのサービスは一切行っておりませんので予めご了承ください。
- ※ 故障や不具合に対する対応サービスが「新品（代替品含む）との交換」となった場合、次回以降の対応につきましてはすべて有料での対応とさせていただきます。
- ※ 当社と未取引の販売店（代理店を含む）でお買い上げいただいた場合、お買い上げ店での対応となる場合があります。
- ※ 個人間での売買（オークション等含む）や譲渡されたものは無料保証の対象外となりますので予めご了承ください。
- ※ 修理対応を行う場合、機器内部のパーツ部品交換などの為、仕様等が若干変わる場合がありますので予めご了承ください。

型番：OT-3PT14AK

長期間ご使用されていなかった場合、再度ご利用いただく際に点検をお願いいたします。



愛情点検

ご使用いただく前に ...

- 本体ケース（プラスチック部）に歪みや変形や割れなどはありませんか？
- ケーブル類に破損や断線や錆などはありませんか？

ご使用中やご使用後に ...

- 本体やアダプターが異常に熱くなる？異音や異臭がする？
- その他の異常や故障が見つかった？

（お願い） ●上記のような場合、機器の故障や事故防止のため、

①アダプターをコンセントから外してください。 ②本体の主電源をオフ（切）にしてください。

●①／②の後、お客様サポートセンターまでご連絡ください。（修理や点検に要する費用なども合せてご案内いたします）

お客様サポートセンター



03-5670-0328

（電話受付時間：【平日】10:00～12:30 / 13:30～17:00）

FAX: 03-5670-0378 / E-MAIL : support@akart.jp

あかーと

検索

<https://akart.jp>



〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 5-26-15-1F 株式会社AKART.(アカート)

（注）休日明けの営業日等は電話が混み合い繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。